

## 19 病歴統計

### 1. 統計の概要

項目		対象
I	患者統計	平成27年1月1日～同年12月31日 までの退院患者
II	年齢階層別統計	
III	在院日数別統計	
IV	地区別患者統計（地区別・年齢別）	
V	疾病統計（大分類）	
VI	疾病統計（新生物詳細）	
VII	死亡統計（年齢別）	
VIII	疾病分類別死亡統計（大分類）	
IX	疾病分類別死亡統計（新生物部位詳細）	
X	疾病分類別死亡統計（新生物部位詳細・年齢別）	
XI	手術統計（大分類）	
XII	手術統計（新生物部位分類）	
XIII	手術統計（大分類・年齢別・性別）	
XIV	出産統計（初経産・年齢階層別分娩数）	
XV	出産統計（単多胎・在胎週数別分娩数）	
XVI	新生児統計（体重別・分娩方法別新生児数）	
XVII	患者統計（経年比較）	
XVIII	年齢階層別統計（経年比較）	
XIX	在院日数別統計（経年比較）	
XX	疾病統計（大分類）（経年比較）	
XXI	死亡統計（年齢別）（経年比較）	
XXII	疾病分類別死亡統計（大分類）（経年比較）	
XXIII	手術統計（大分類）（経年比較）	

### 2. 分類方法

- † 疾病分類は、ICD10（国際疾病分類）に基づく厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要」による。
- † 手術分類は、日本病院会版 ICD9-CM「手術および処置の分類」による。

### 3. 情報収集

退院・転科時サマリーを元に、入院カルテの記載された病名、手術を医学資料室で病歴登録を行った。

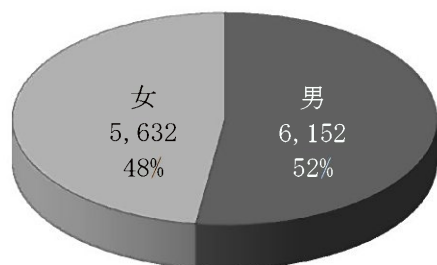
### 4. 統計方法

- † 対象期間の退院患者の各科歴を対象とした。
- † 統計に掲載する病名は主病名とした。
- † 統計に掲載する手術は主手術とした。
- † 一入院の間に転科をした場合は、それぞれの科で1件ずつの患者数とした。
- † 手術は、「手術室」「内視鏡室」「放射線科」で行った手技を手術として定義し登録した。

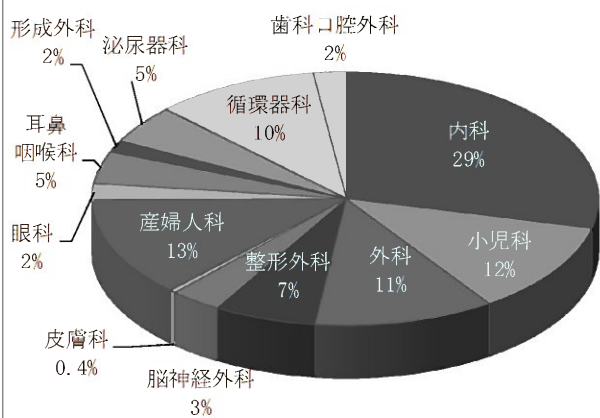
# I. 患者統計

	総数	構成比 (%)		在院日数		平均年齢	
		男	女	延べ	平均		
総数	11,784	6,152	5,632	100.0%	152,776	13.0	55.6
内科	3,391	2,000	1,391	28.8%	61,330	18.1	71.1
小児科	1,381	783	598	11.7%	9,601	7.0	3.0
外科	1,352	818	534	11.5%	17,108	12.7	65.4
整形外科	765	332	433	6.5%	17,598	23.0	66.7
脳神経外科	387	244	143	3.3%	5,653	14.6	63.7
皮膚科	42	16	26	0.4%	601	14.3	65.7
産婦人科	1,502	28	1,474	12.7%	13,049	8.7	36.8
眼科	242	119	123	2.1%	939	3.9	69.7
耳鼻咽喉科	486	273	213	4.1%	3,838	7.9	47.6
形成外科	185	129	56	1.6%	1,609	8.7	44.8
泌尿器科	571	467	104	4.8%	7,388	12.9	70.6
循環器科	1,232	826	406	10.5%	12,498	10.1	71.7
歯科口腔外科	248	117	131	2.1%	1,564	6.3	44.1

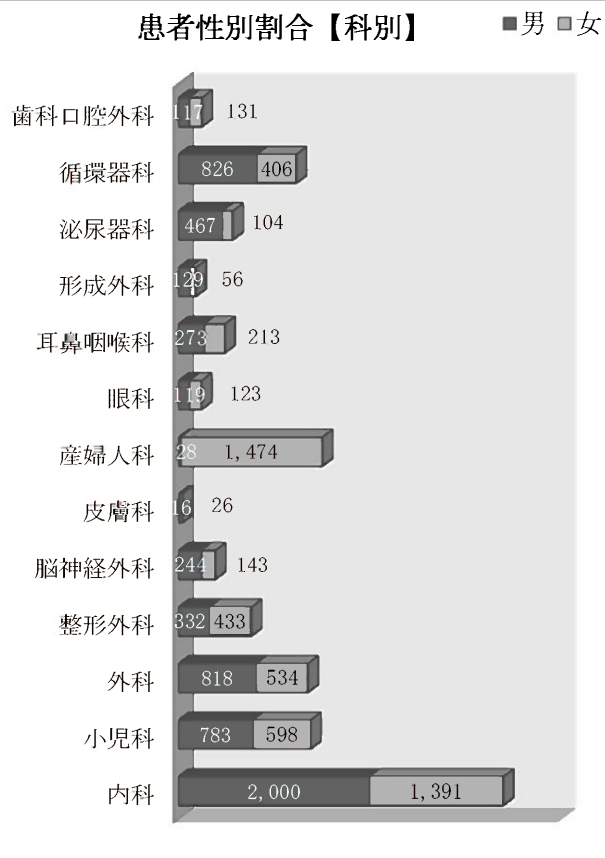
退院患者性別割合【全体】



科別患者割合



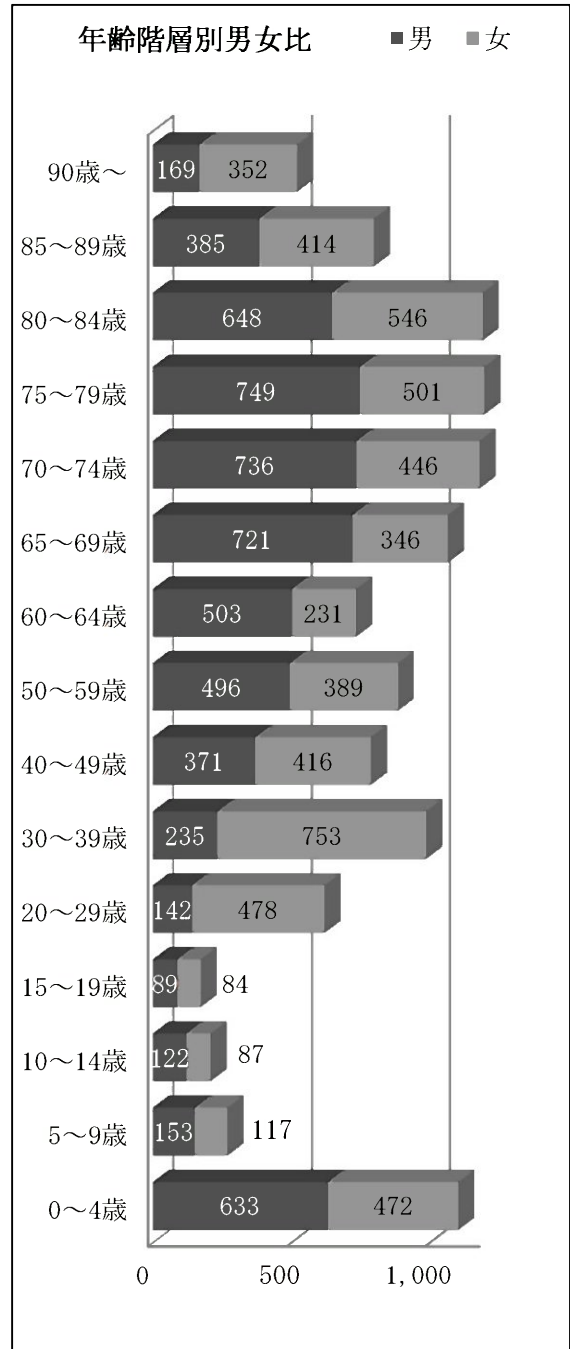
患者性別割合【科別】



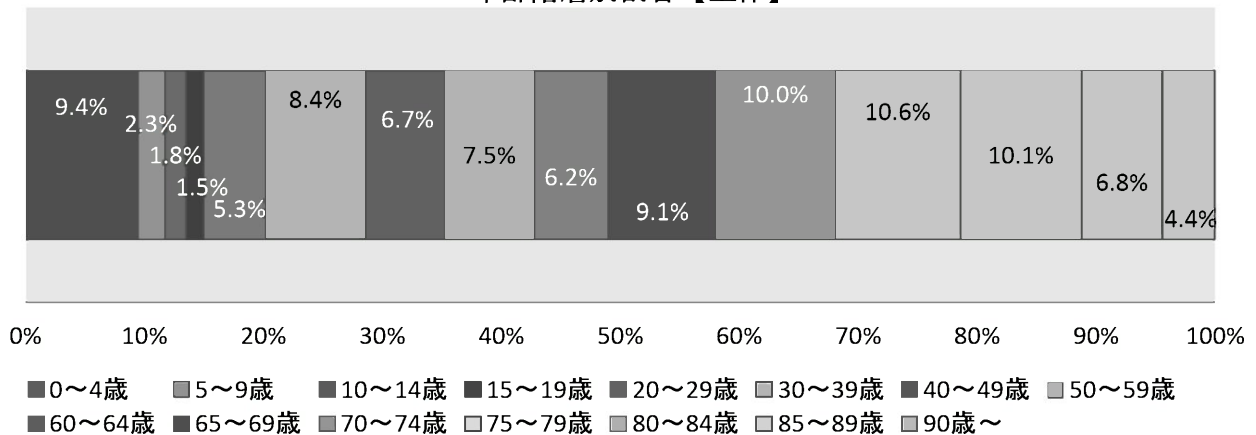
## II. 年齢階層別統計

	総数		
	総数	男	女
総数	11,784	6,152	5,632
構成比(%)	100.0%	52.2%	47.8%
平均年齢	55.6	57.2	53.8
0～4歳	1,105	633	472
5～9歳	270	153	117
10～14歳	209	122	87
15～19歳	173	89	84
20～29歳	620	142	478
30～39歳	988	235	753
40～49歳	787	371	416
50～59歳	885	496	389
60～64歳	734	503	231
65～69歳	1,067	721	346
70～74歳	1,182	736	446
75～79歳	1,250	749	501
80～84歳	1,194	648	546
85～89歳	799	385	414
90歳～	521	169	352

年齢別の退院数で見ると、75～79歳代（全体の10.6%）の患者数が最も多い。  
50歳～84歳まで男性と女性の割合が逆転しており、特に50代より男性特有の生殖器系疾患の増加により男性の患者数割合が増加する。



年齢階層別割合【全体】



### Ⅲ. 在院日数別統計

	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	産婦人科	
延べ在院日数	61,330	9,601	17,108	17,598	5,653	601	13,049	
平均在院日数	18.1	7.0	12.7	23.0	14.6	14.3	8.7	
在院日数別退院患者	1～8日	1,126	1,090	750	182	210	17	1,088
	9～15日	949	208	311	93	61	11	302
	16～22日	498	48	108	144	25	9	46
	23～31日	345	19	88	165	31	1	23
	32～61日	364	12	76	155	53	4	33
	62～91日	68	2	14	18	7	—	8
	3～6ヶ月	34	2	2	8	—	—	2
	6ヶ月～1年	7	—	2	—	—	—	—
	1～2年	—	—	1	—	—	—	—
	2年～	—	—	—	—	—	—	—

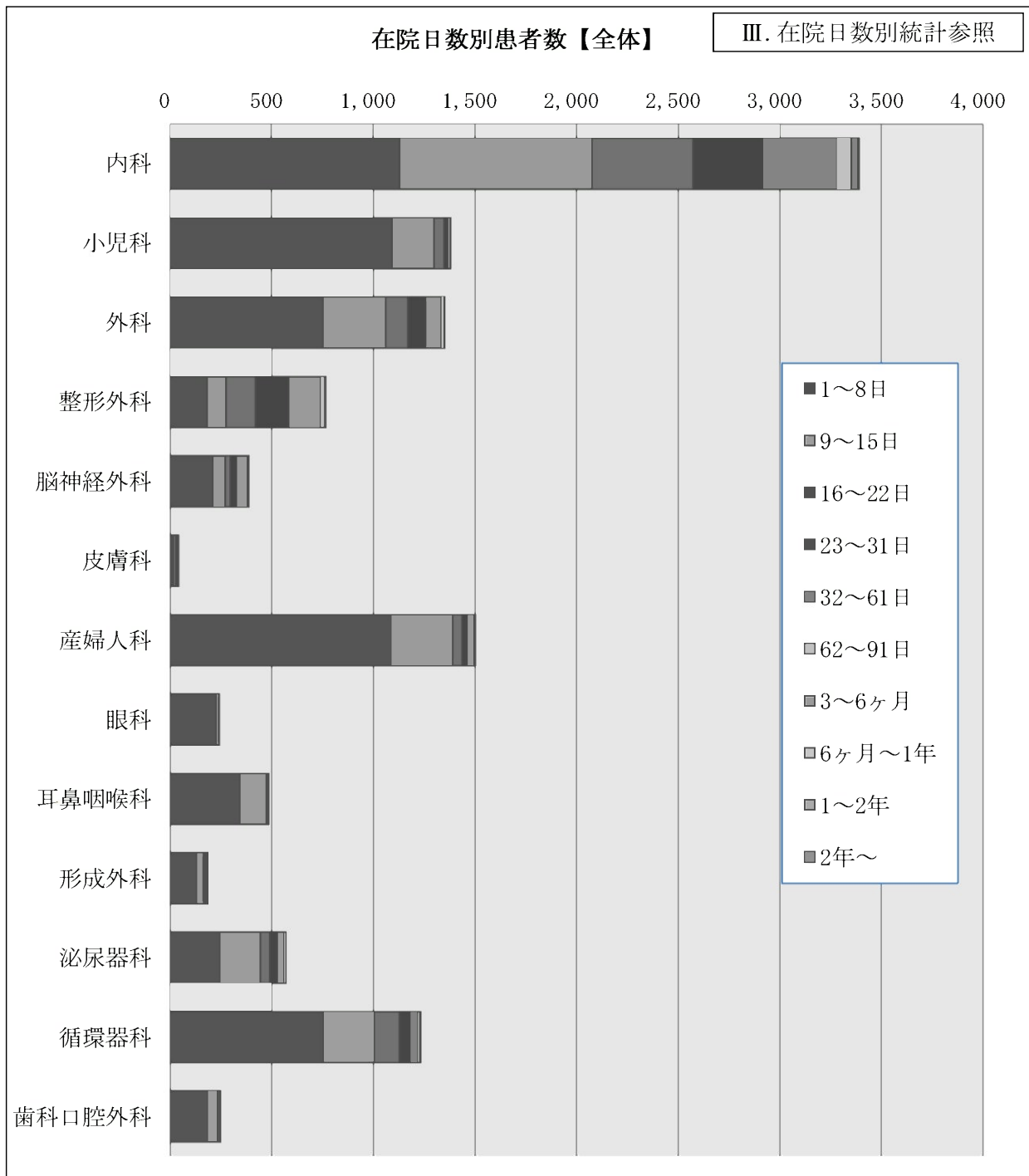
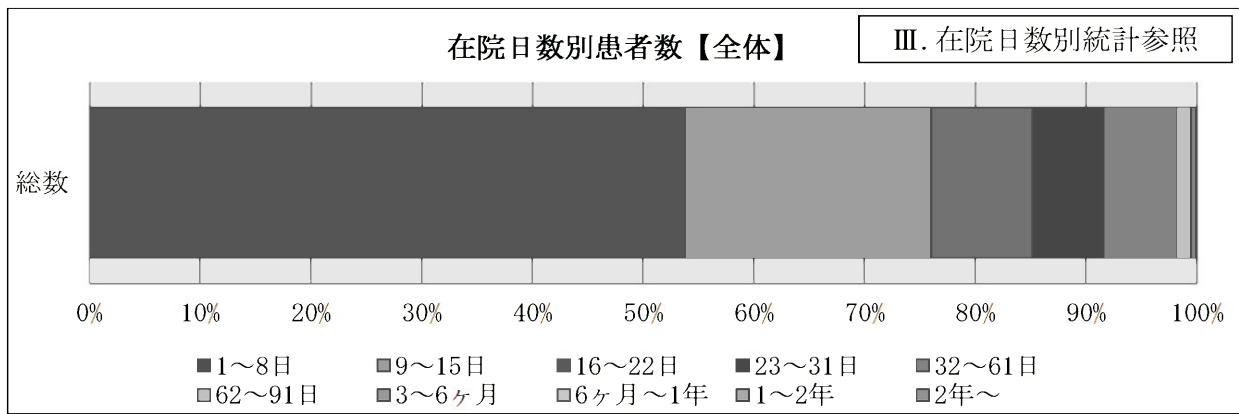
	眼科	耳鼻咽喉科	形成外科	泌尿器科	循環器科	歯科口腔外科	総数	
延べ在院日数	939	3,838	1,609	7,388	12,498	1,564	152,776	
平均在院日数	3.9	7.9	8.7	12.9	10.1	6.3	13.0	
在院日数別退院患者	1～8日	226	342	131	245	752	185	6,344
	9～15日	14	132	35	198	252	49	2,615
	16～22日	2	8	8	46	123	9	1,074
	23～31日	—	1	6	37	54	2	772
	32～61日	—	3	3	32	34	3	772
	62～91日	—	—	1	11	13	—	142
	3～6ヶ月	—	—	1	2	4	—	55
	6ヶ月～1年	—	—	—	—	—	—	9
	1～2年	—	—	—	—	—	—	1
	2年～	—	—	—	—	—	—	—

全体の平均在院日数は13.0日となっている。全体の76.0%の患者が15日以内に退院している。

各科別では最も在院日数が高いのは整形外科（23.0日）となり、次いで内科（18.1日）、脳神経外科（14.6日）となっている。また短い科は眼科（3.9日）が最も短く歯科口腔外科（6.3日）、小児科（7.0日）、耳鼻咽喉科（7.9日）の順に平均在院日数が短い。

在院日数の長い科は、平均年齢が高く長期に渡る治療又はリハビリ治療を要する疾患が多いこと等が要因である。

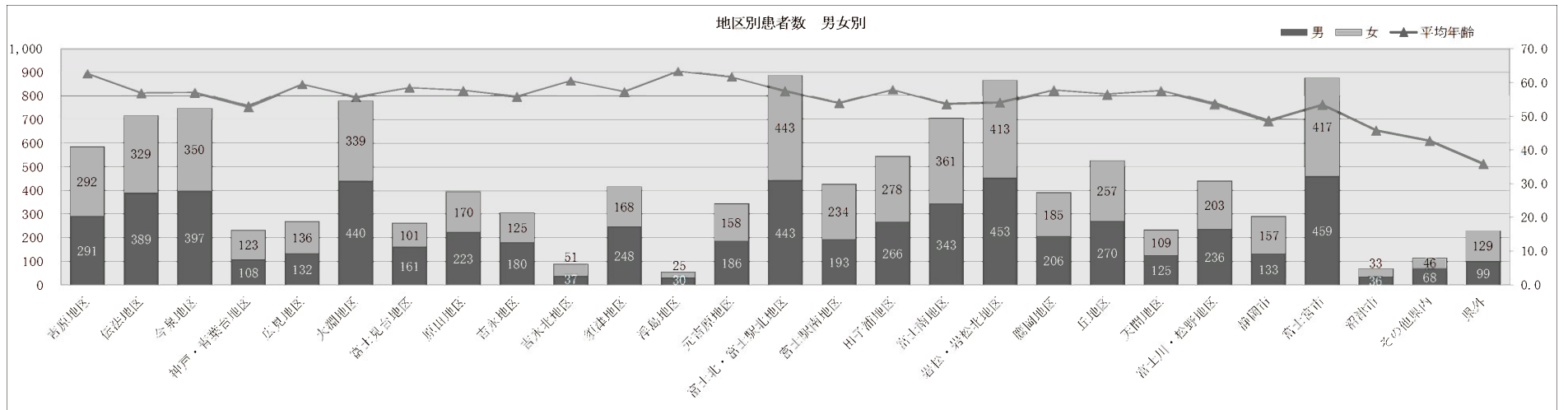
科別に見ると、症例の多い外科の半分以上の患者が8日以内に退院しており、クリニカルパスを使用した短期入院が多いことが考えられる。





IV. 地区別患者統計（地区別・年齢別）

		総数	構成比(%)	平均年齢	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～
					計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総数	計	11,784	100.0	55.6	1,105	270	209	173	620	988	787	885	734	1,067	1,182	1,250	1,194	799	521
	男	6,152	52.2	57.2	633	153	122	89	422	635	496	503	721	736	749	648	385	169	
	女	5,632	47.8	53.8	472	117	87	84	478	753	416	389	231	346	446	501	546	414	352
構成比(%)	計	100.0			9.4	2.3	1.8	1.5	5.3	8.4	6.7	7.5	6.2	9.1	10.0	10.6	10.1	6.8	4.4
	男	100.0			10.3	2.5	2.0	1.4	2.3	3.8	6.0	8.1	8.2	11.7	12.0	12.2	10.5	6.3	2.7
	女	100.0			8.4	2.1	1.5	1.5	8.5	13.4	7.4	6.9	4.1	6.1	7.9	8.9	9.7	7.4	6.3
鷹岡地区	計	391	3.3	57.7	35	9	5	3	22	31	21	20	11	55	40	47	51	24	17
	男	206	3.3	61.3	22	3	1	1	2	11	6	10	8	35	25	29	37	12	4
	女	185	3.3	53.6	13	6	4	2	20	20	15	10	3	20	15	18	14	12	13
丘地区	計	527	4.5	56.5	55	20	7	9	25	33	34	28	26	39	49	65	59	48	30
	男	270	4.4	60.3	28	7	4	2	4	5	17	16	21	28	32	37	31	24	14
	女	257	4.6	52.4	27	13	3	7	21	28	17	12	5	11	17	28	28	24	16
天間地区	計	234	2.0	57.5	19	10	6	—	8	16	12	17	15	19	29	29	31	16	7
	男	125	2.0	59.5	9	6	3	—	2	3	8	11	8	13	21	10	19	9	3
	女	109	1.9	55.2	10	4	3	—	6	13	4	6	7	6	8	19	12	7	4
富士川・松野地区	計	439	3.7	53.6	46	9	8	2	16	48	30	40	38	36	48	58	33	21	6
	男	236	3.8	55.3	29	5	5	2	4	11	16	14	29	24	26	42	17	9	3
	女	203	3.6	51.6	17	4	3	—	12	37	14	26	9	12	22	16	16	12	3
静岡市	計	290	2.5	48.5	47	6	2	6	27	25	18	28	17	25	14	17	29	18	11
	男	133	2.2	48.3	23	6	1	3	8	3	5	16	13	20	7	12	13	3	—
	女	157	2.8	48.7	24	—	1	3	19	22	13	12	4	5	7	5	16	15	11
富士宮市	計	876	7.4	53.2	69	21	20	19	66	72	88	75	49	89	79	73	66	58	32
	男	459	7.5	54.7	35	12	13	10	12	31	44	45	40	57	51	47	24	26	12
	女	417	7.4	51.6	34	9	7	9	54	41	44	30	9	32	28	26	42	32	20
沼津市	計	69	0.6	45.6	5	—	1	4	8	11	12	6	6	1	1	7	3	4	—
	男	36	0.6	47.8	3	—	—	1	1	8	6	6	3	—	—	5	—	3	—
	女	33	0.6	43.2	2	—	1	3	7	3	6	—	3	1	1	2	3	1	—
その他県内	計	114	1.0	42.5	18	2	—	2	18	21	7	5	7	10	7	6	6	1	4
	男	68	1.1	45.4	14	2	—	—	3	11	5	3	2	10	5	4	5	1	3
	女	46	0.8	38.3	4	—	—	2	15	10	2	2	5	—	2	2	1	—	1
県外	計	228	1.9	35.8	52	2	1	3	33	55	17	12	9	7	8	10	7	5	7
	男	99	1.6	38.6	30	—	1	2	16	7	4	13	7	9	6	7	2	3	1
	女	129	2.3	33.7	22	2	—	1	26	51	4	5	—	—	2	3	5	2	6



V. 疾病統計

分類名	総数	構成比(%)		在院日数		平均年齢	
		男	女	延べ	平均		
総数	11,784	6,152	5,632	100.0%	152,776	13.0	55.6
感染症・寄生虫症	376	183	193	3.2%	4,390	11.7	32.7
新生物	2,119	1,164	955	18.0%	31,464	14.8	67.0
血液・造血器疾患	77	45	32	0.7%	1,022	13.3	46.5
内分泌・栄養・代謝	336	184	152	2.9%	5,058	15.1	56.1
精神障害	25	15	10	0.2%	232	9.3	32.1
神経系疾患	251	139	112	2.1%	3,065	12.2	47.1
眼及び付属器疾患	221	105	116	1.9%	922	4.2	71.3
耳及び乳様突起疾患	100	54	46	0.8%	762	7.6	50.5
循環器系疾患	1,702	1,098	604	14.4%	20,823	12.2	71.7
呼吸器系疾患	1,415	832	583	12.0%	20,455	14.5	48.1
消化器系疾患	1,607	959	648	13.6%	18,147	11.3	62.9
皮膚・皮下組織疾患	122	66	56	1.0%	1,746	14.3	47.3
筋骨格系・結合組織疾患	195	95	100	1.7%	4,175	21.4	50.4
尿路生殖系疾患	688	332	356	5.8%	9,273	13.5	60.1
妊娠・分娩及び産じょく	925	—	925	7.8%	8,680	9.4	31.3
周産期に発生した病態	344	188	156	2.9%	3,094	9.0	—
先天奇形・変形及び染色体異常	49	26	23	0.4%	368	7.5	26.2
症状・徴候・診断不明確	136	76	60	1.2%	929	6.8	24.1
損傷・中毒・その他外因	1,096	591	505	9.3%	18,171	16.6	57.9
傷病及び死亡の外因	—	—	—	—	—	—	—
健康状態に影響を及ぼす要因	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—

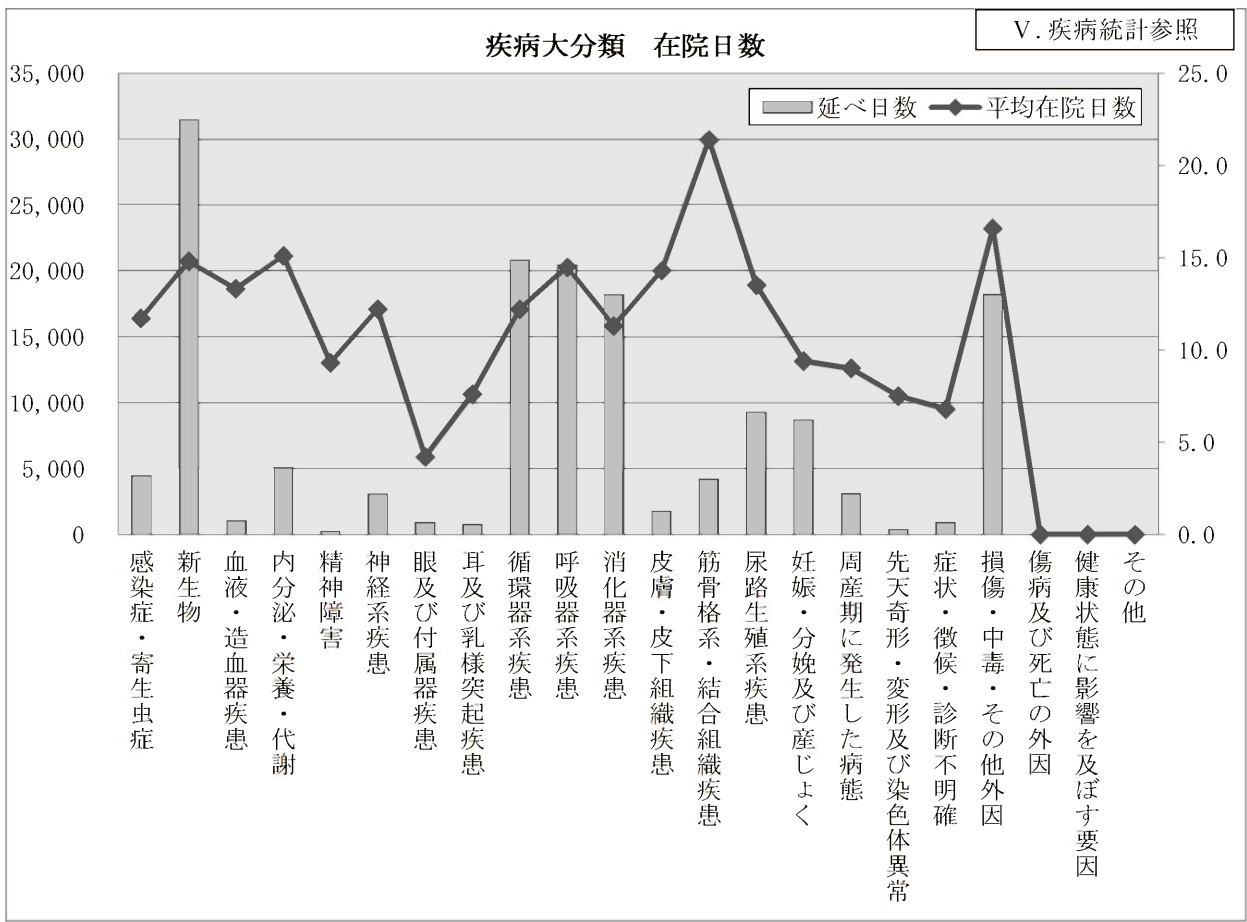
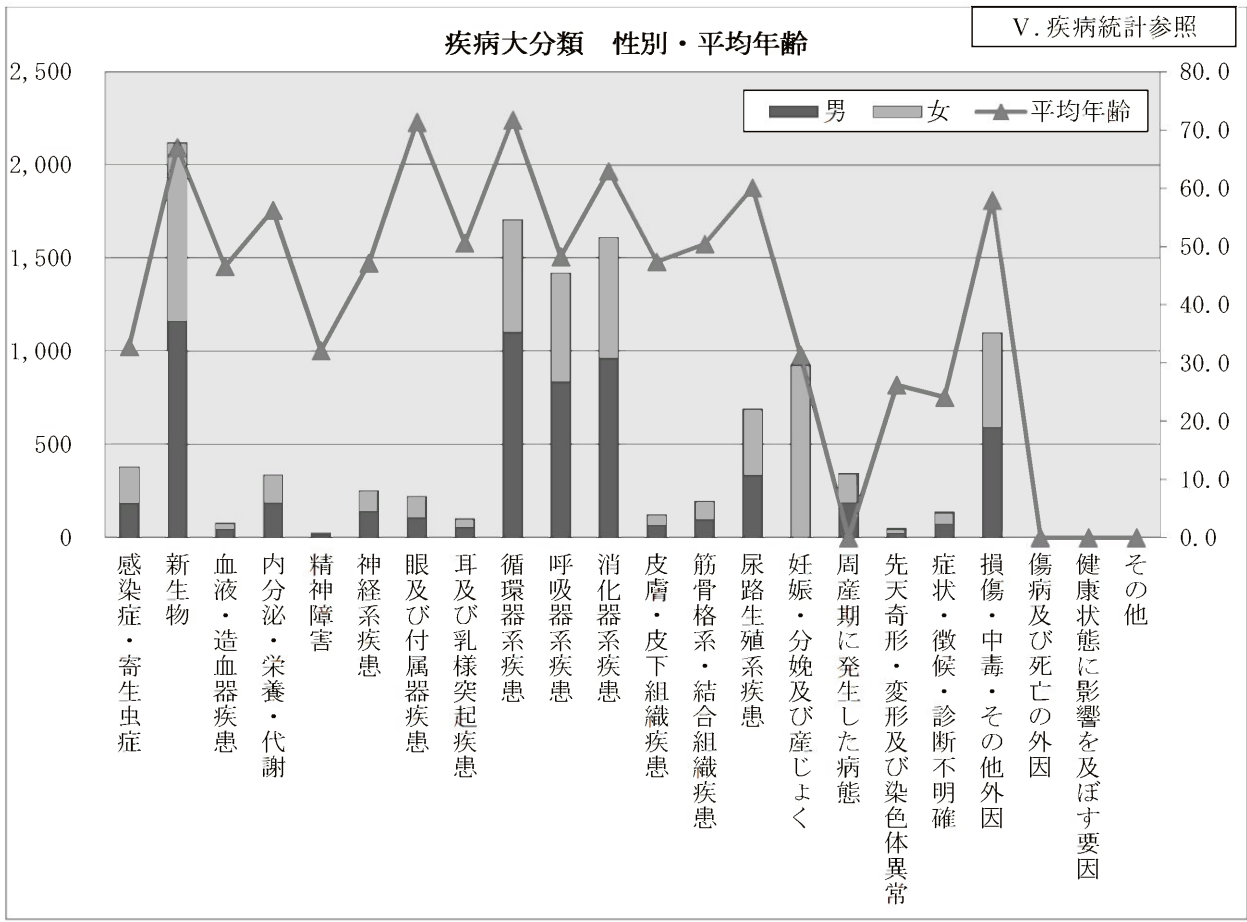
疾患毎に見ると、当院で最も多い疾患は  
 新生物（2119件、18.0%）  
 循環器系疾患（1702件、14.4%）  
 消化器系疾患（1607件、13.6%）  
 呼吸器系疾患（1415件、12.0%）  
 損傷・中毒・その他外因（1096件、9.3%）

男女別に見ると

【男性】新生物、循環器、消化器      【女性】新生物、妊娠分娩、消化器

男女共に新生物疾患が上位に来ており、当院で取り扱う症例の特徴と言える。  
 また、全体の中では5番目に多い、外傷系疾患が多いことも当院の特徴である。





## VI. 疾病統計（新生物部位分類）

分類名	総数	性別		構成比 (%)	平均 年齢
		男	女		
新生物全体	2,119	1,164	955	100.0%	67.0
悪性腫瘍（上皮内癌含む）	1,655	1,011	644	78.1%	68.3
歯肉	2	1	1	0.1%	81.5
口腔底	1	1		0.0%	74.0
頬粘膜	1	1		0.0%	66.0
顎下腺	1	1		0.0%	63.0
中咽頭	2	2		0.1%	82.0
上咽頭	1		1	0.0%	47.0
下咽頭	2	2		0.1%	78.0
食道	45	39	6	2.1%	64.6
胃	134	92	42	6.3%	72.9
小腸	4	1	3	0.2%	76.8
結腸	211	146	65	10.0%	73.3
直腸S状結腸移行部	2	2		0.1%	80.5
直腸	110	78	32	5.2%	71.7
肛門管	1	1		0.0%	74.0
肝および肝内胆管	124	98	26	5.9%	74.0
胆のう<嚢>	11	5	6	0.5%	81.2
その他および部位不明の胆道	46	26	20	2.2%	77.4
膵臓	82	53	29	3.9%	71.6
喉頭	6	6		0.3%	66.7
肺（気管支含む）	86	52	34	4.1%	73.0
皮膚悪性黒色腫	1		1	0.0%	89.0
その他皮膚	14	8	6	0.7%	79.1
胸膜	5	2	3	0.2%	52.4
後腹膜および腹膜	3		3	0.1%	62.0
その他の結合組織および軟部組織	1		1	0.0%	59.0
乳房	90		90	4.2%	65.7
子宮頸部	3		3	0.1%	54.0
子宮体部	45		45	2.1%	58.0
卵巣	71		71	3.4%	63.6
卵管	18		18	0.8%	59.8
陰茎	1	1		0.0%	71.0
前立腺	145	145		6.8%	73.1
精巣<睾丸>	5	5		0.2%	40.8
腎（腎盂を除く）	12	8	4	0.6%	72.8
腎盂	9	9		0.4%	78.9
尿管	9	8	1	0.4%	82.7
膀胱	151	125	26	7.1%	74.6
脳	1	1		0.0%	52.0
甲状腺	1	1		0.0%	83.0
リンパ節	1	1		0.0%	68.0
肝および肝内胆管（続発性）	8	4	4	0.4%	65.1
胸膜（続発性）	4	2	2	0.2%	81.8
肺（続発性）	7	6	1	0.3%	67.3
腹膜（続発性）	9	1	8	0.4%	65.4
脳（続発性）	6	3	3	0.3%	76.5
副腎（続発性）	1		1	0.0%	59.0
原発不明	7	4	3	0.3%	72.1
ホジキン病	2	1	1	0.1%	46.5
濾胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫	13	4	9	0.6%	69.4
びまん性非ホジキンリンパ腫	25	14	11	1.2%	72.3

## VI. 疾病統計（新生物部位分類）

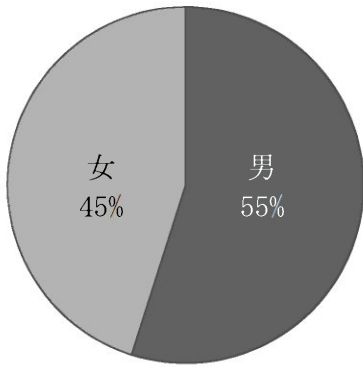
分類名	総数	性別		構成比 (%)	平均年齢
		男	女		
末梢性および皮膚T細胞リンパ腫	1		1	0.0%	80.0
非ホジキンリンパ腫のその他および詳細不明の型	37	20	17	1.7%	75.5
悪性免疫性増殖性疾患	1	1		0.0%	48.0
多発性骨髄腫	22	13	9	1.0%	74.7
リンパ性白血病	7	4	3	0.4%	51.4
骨髄性白血病	15	11	4	0.9%	65.3
細胞型不明の白血病	1		1	0.1%	52.0
子宮頸部の上皮内癌	27		27	1.6%	40.9
膀胱の上皮内癌	4	2	2	0.2%	77.3
<b>良性腫瘍</b>	<b>379</b>	<b>103</b>	<b>276</b>	<b>17.9%</b>	<b>54.1</b>
口腔および咽頭	4	4		0.2%	65.3
大唾液腺	6	4	2	0.4%	54.3
結腸、直腸、肛門および肛門管	87	60	27	5.3%	66.1
消化器系のその他および部位不明	13	7	6	0.8%	66.1
中耳および呼吸器系	4	3	1	0.2%	48.0
その他および部位不明の腹腔内臓器	2	2		0.1%	52.0
骨および関節軟骨	10	3	7	0.6%	32.1
良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む）	8	2	6	0.5%	50.4
血管腫およびリンパ管腫	9	2	7	0.5%	48.6
後腹膜および腹膜の軟部組織	1	1		0.1%	75.0
メラニン細胞性母斑	3	3		0.2%	3.0
皮膚その他	1		1	0.1%	9.0
乳房	2		2	0.1%	22.5
子宮平滑筋腫	126		126	7.6%	45.1
卵巣	77		77	4.7%	44.9
その他および部位不明の女性生殖器	1		1	0.1%	19.0
男性生殖器	1	1		0.1%	47.0
腎尿路	5	4	1	0.3%	54.2
髄膜	5	1	4	0.3%	66.2
甲状腺	10	4	6	0.6%	59.8
その他および部位不明の内分泌腺	4	2	2	0.2%	68.8
<b>性状不詳の新生物</b>	<b>85</b>	<b>50</b>	<b>35</b>	<b>4.0%</b>	<b>64.1</b>
口腔および消化器	24	15	9	1.5%	67.3
女性生殖器	5		5	0.3%	55.8
男性生殖器	3	3		0.2%	52.0
腎尿路	4		4	0.2%	72.0
髄膜	1	1		0.1%	82.0
脳および中枢神経系	1		1	0.1%	61.0
内分泌腺	1		1	0.1%	38.0
骨髄異形成症候群	27	21	6	1.6%	73.1
リンパ組織、造血組織	3	3		0.2%	63.7
その他および部位不明	16	7	9	1.0%	37.1

性状別に見ると、新生物のうち悪性新生物が全体の約8割を占める。男女別に見ると、男性の新生物の約9割、女性の約7割が悪性腫瘍となっている。また女性は良性腫瘍の疾患（子宮筋腫126件、卵巣のう腫77件）が多いことも特徴である。

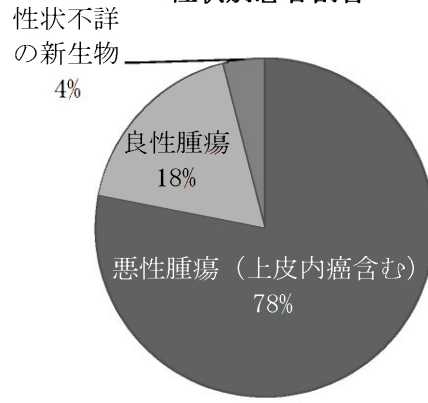
悪性腫瘍の順位は

- 【全体】 結腸（211件）、膀胱（151件）、前立腺（145件）
- 【男性】 結腸（146件）、前立腺（145件）、膀胱（125件）
- 【女性】 乳房（90件）、卵巣（71件）、結腸（65件）

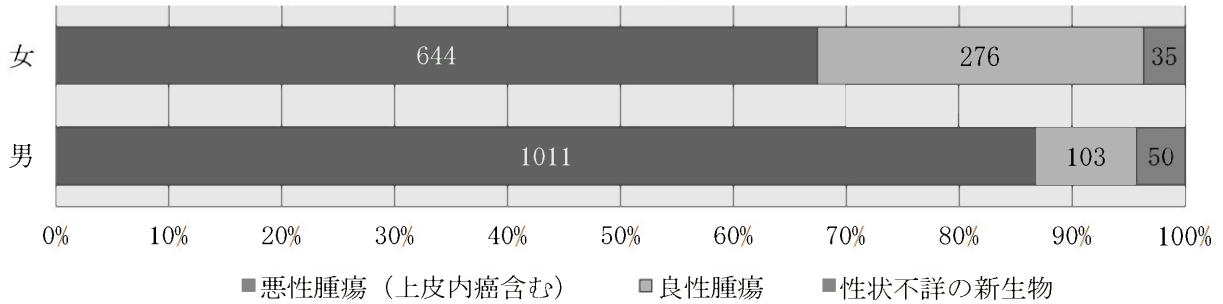
男女別・新生物退院患者



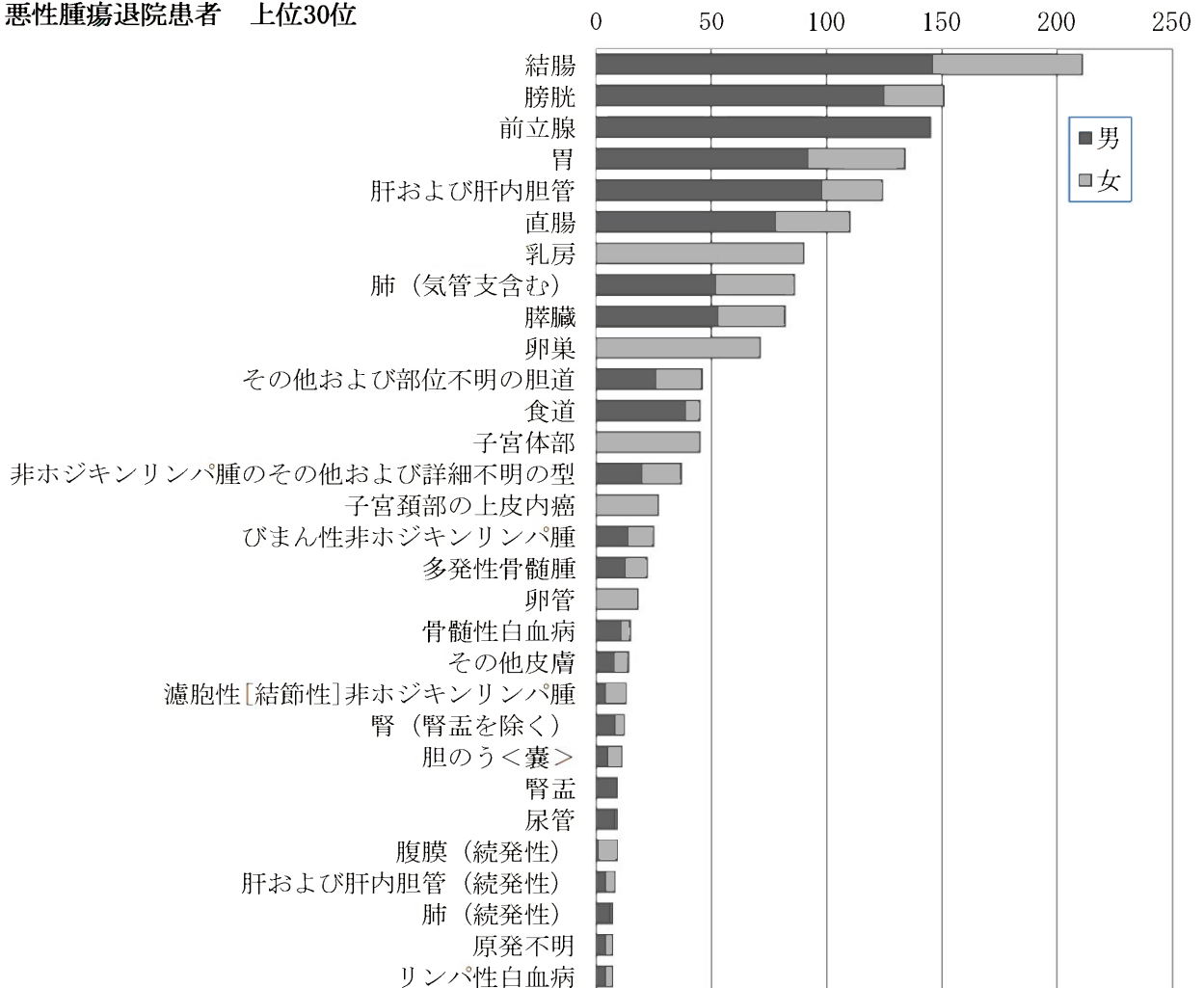
性状別患者割合



男女別・性状別・退院患者割合

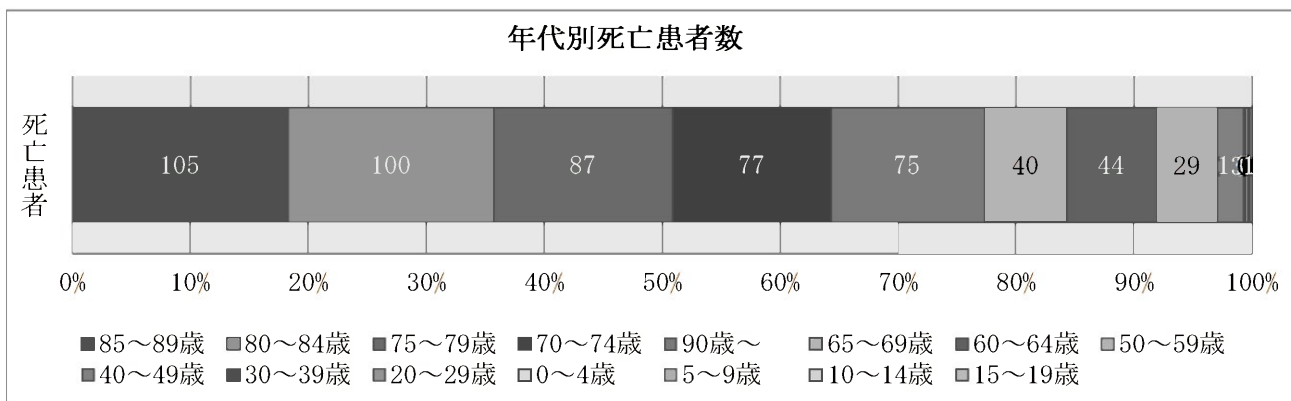
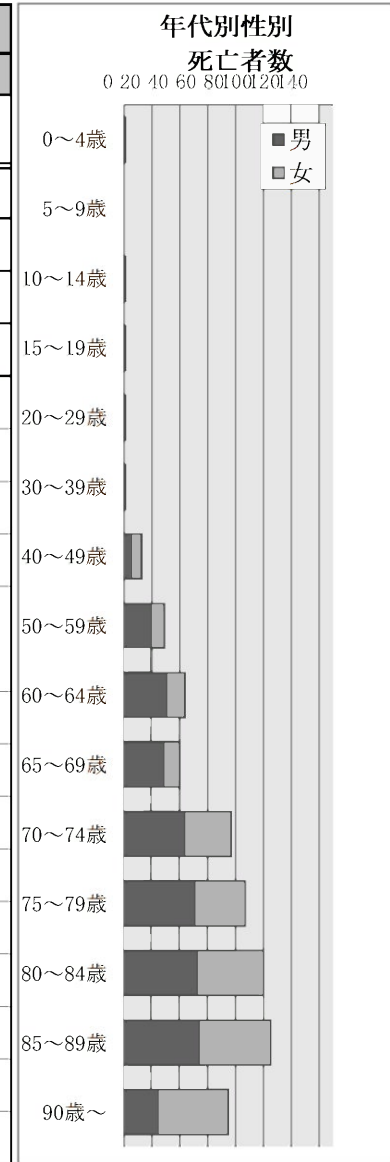


悪性腫瘍退院患者 上位30位



Ⅶ. 死亡統計

		総数	(剖検)	男	(剖検)	女	(剖検)
退院総数		11,784		6,152		5,632	
死亡患者数		575	(8)	317	(5)	258	(3)
死亡率(%)		4.9%		5.2%		4.6%	
構成比(%)		100.0%		52.2%		47.8%	
平均年齢		77.0		74.9		79.5	
年齢階層別	0～4歳	1	(-)	1	(-)	-	(-)
	5～9歳	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	10～14歳	1	(-)	1	(-)	-	(-)
	15～19歳	1	(-)	1	(-)	-	(-)
	20～29歳	1	(-)	1	(-)	-	(-)
	30～39歳	1	(-)	-	(-)	1	(-)
	40～49歳	13	(-)	6	(-)	7	(-)
	50～59歳	29	(1)	20	(1)	9	(-)
	60～64歳	44	(1)	31	(1)	13	(-)
	65～69歳	40	(-)	29	(-)	11	(-)
	70～74歳	77	(-)	44	(-)	33	(-)
	75～79歳	87	(2)	51	(1)	36	(1)
	80～84歳	100	(3)	53	(1)	47	(2)
	85～89歳	105	(1)	54	(1)	51	(-)
90歳～	75	(-)	25	(-)	50	(-)	

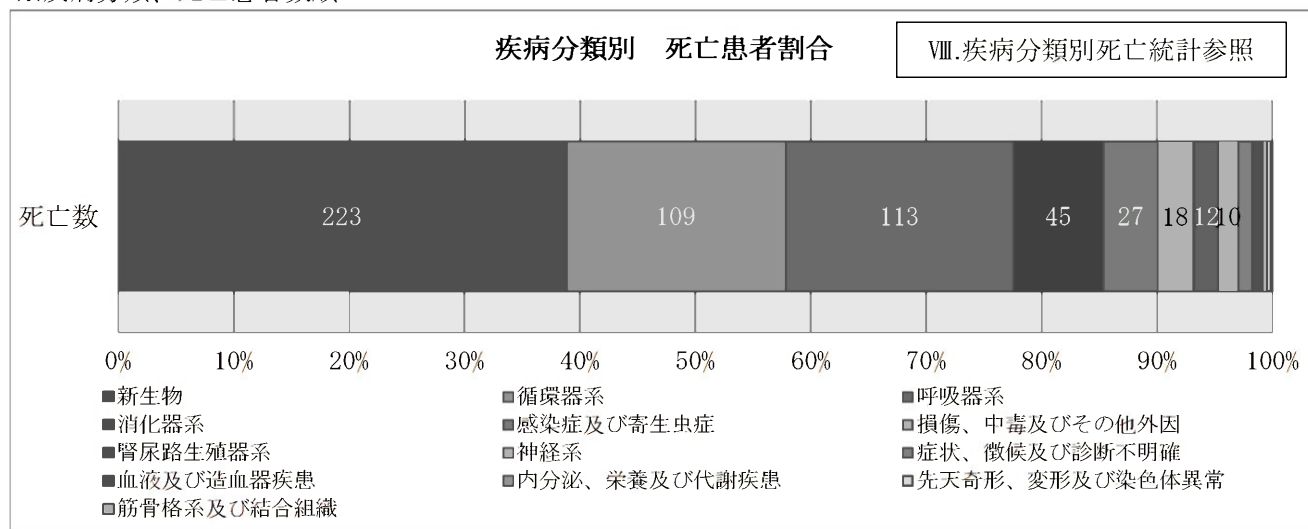


退院死亡患者は 男性317人 (55.1%)、女性258人 (44.9%) となっている。剖検数は8件と全体の1.4%となった。死亡率は4.9%。  
 年代別にみると、85～89歳 (105人、18.3%) が、最も多く、次いで80～84歳 (100人、17.4%)、75～79歳 (87人、15.1%) となっている。  
 男女別では、男性は75～89歳に、女性は80歳～に集中しており、例年の男性75～84歳、女性80～89歳の傾向より年齢階層の上限幅が拡大している。

## VIII. 疾病分類別死亡統計

分類名	総数	死亡数	死亡数			死亡率 (%)	構成比 (%)	在院日数		平均年齢
			(剖検)	男	女			延べ	平均	
総数	11,784	575	(8)	317	258	4.9%	100.0%	13,135	22.8	77.0
新生物	2,119	223	—	126	97	10.5%	38.8%	6,218	27.9	74.1
循環器系	1,702	109	(2)	50	59	6.4%	19.0%	1,513	13.9	78.4
呼吸器系	1,415	113	(2)	71	42	8.0%	19.7%	2,262	20.0	84.0
消化器系	1,607	45	—	24	21	2.8%	7.8%	1,294	28.8	77.9
感染症及び寄生虫症	376	27	—	13	14	7.2%	4.7%	937	34.7	75.2
損傷、中毒及びその他外因	1,096	18	(1)	10	8	1.6%	3.1%	127	7.1	65.7
腎尿路生殖器系	688	12	(1)	7	5	1.7%	2.1%	239	19.9	80.9
神経系	251	10	(1)	6	4	4.0%	1.7%	202	20.2	70.2
症状、徴候及び診断不明確	136	7	—	3	4	5.1%	1.2%	166	23.7	85.7
血液及び造血器疾患	77	5	—	3	2	6.5%	0.9%	86	17.2	86.6
内分泌、栄養及び代謝疾患	336	2	—	2	—	0.6%	0.3%	4	2.0	51.0
先天奇形、変形及び染色体異常	49	2	—	2	—	4.1%	0.3%	4	2.0	7.0
筋骨格系及び結合組織	195	1	(1)	—	1	0.5%	0.2%	62	62.0	76.0
皮膚及び皮下組織	122	1	—	—	1	0.8%	0.2%	21	21.0	92.0

※疾病分類、死亡患者数順

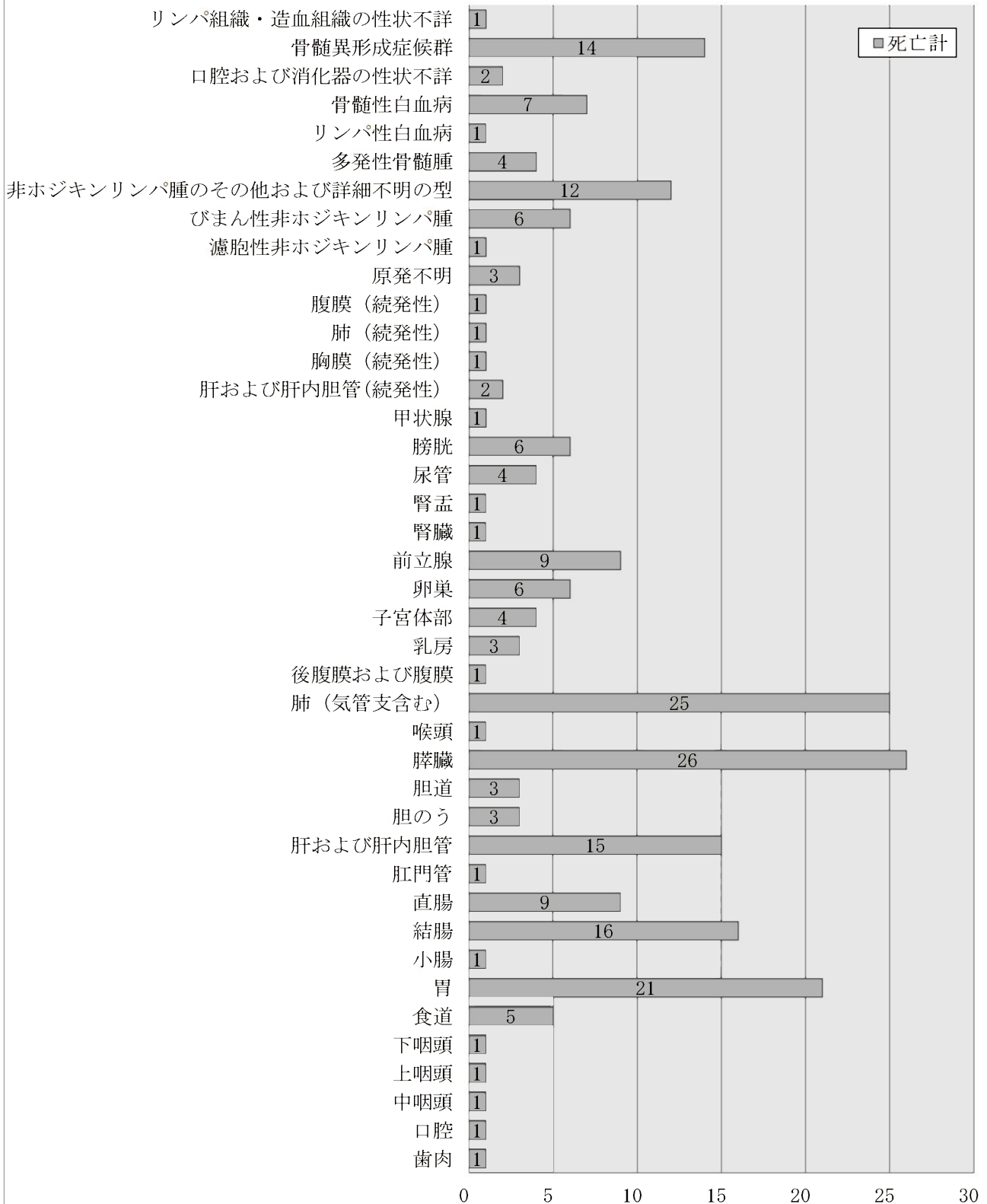


当院で最も多い死亡疾患は、新生物（223人、38.8%）となっており、次いで呼吸器系疾患（113人、19.7%）、循環器系疾患（109件、19.0%）となっている。  
男女共に、新生物疾患が死亡原因としては最も多く、また死亡率も高くなっている。

## IX. 疾病分類別死亡統計（新生物部位詳細）

	総数	死亡計	(剖検)	死亡率(%)	構成比(%)	平均年齢
新生物	2,119	223	(-)	10.5%	100%	74.1
歯肉	2	1	(-)	50.0%	0.4%	81.0
口腔	2	1	(-)	50.0%	0.4%	74.0
中咽頭	2	1	(-)	50.0%	0.4%	82.0
上咽頭	1	1	(-)	100.0%	0.4%	47.0
下咽頭	2	1	(-)	50.0%	0.4%	78.0
食道	45	5	(-)	11.1%	2.2%	67.2
胃	134	21	(-)	15.7%	9.5%	71.8
小腸	4	1	(-)	25.0%	0.4%	72.0
結腸	211	16	(-)	7.6%	7.3%	67.9
直腸	110	9	(-)	8.2%	3.9%	78.7
肛門管	1	1	(-)	100.0%	0.4%	74.0
肝および肝内胆管	124	15	(-)	12.1%	6.5%	74.5
胆のう	11	3	(-)	27.3%	1.3%	86.3
胆道	46	3	(-)	6.5%	1.3%	88.3
膵臓	82	26	(-)	31.7%	11.2%	73.2
喉頭	6	1	(-)	16.7%	0.9%	80.0
肺（気管支含む）	86	25	(-)	29.1%	10.8%	78.0
後腹膜および腹膜	3	1	(-)	33.3%	0.4%	62.0
乳房	90	3	(-)	3.3%	1.3%	72.3
子宮体部	45	4	(-)	8.9%	1.7%	51.0
卵巣	71	6	(-)	8.5%	3.4%	70.7
前立腺	145	9	(-)	6.2%	4.3%	76.7
腎臓	12	1	(-)	8.3%	0.4%	75.0
腎盂	9	1	(-)	11.1%	0.4%	80.0
尿管	9	4	(-)	44.4%	1.7%	80.5
膀胱	151	6	(-)	4.0%	3.0%	77.3
甲状腺	1	1	(-)	100.0%	0.4%	83.0
肝および肝内胆管（続発性）	8	2	(-)	25.0%	0.9%	61.0
胸膜（続発性）	4	1	(-)	25.0%	0.4%	81.0
肺（続発性）	7	1	(-)	14.3%	0.4%	79.0
腹膜（続発性）	9	1	(-)	11.1%	0.4%	66.0
原発不明	7	3	(-)	42.9%	1.7%	72.0
濾胞性非ホジキンリンパ腫	13	1	(-)	7.7%	0.4%	79.0
びまん性非ホジキンリンパ腫	25	6	(-)	24.0%	2.6%	77.3
非ホジキンリンパ腫のその他および詳細不明の型	37	12	(-)	32.4%	5.2%	82.8
多発性骨髄腫	22	4	(-)	18.2%	1.7%	62.5
リンパ性白血病	7	1	(-)	14.3%	0.4%	67.0
骨髄性白血病	15	7	(-)	46.7%	3.0%	70.3
口腔および消化器の性状不詳	24	2	(-)	8.3%	1.3%	74.5
骨髄異形成症候群	27	14	(-)	51.9%	6.0%	75.6
リンパ組織・造血組織の性状不詳	3	1	(-)	33.3%	0.4%	73.0

### 疾病分類別死亡統計（新生物部位詳細）



新生物で最も死亡患者が多いのは膵臓の悪性新生物（26人）。次いで肺（気管支を含む）（25人）、胃（21人）、結腸（16人）となっている。  
 患者数が多く死亡率が高いのは、膵臓、肺（気管支を含む）、胃となっている。  
 患者数が多いが、死亡率が低いのは、膀胱、乳房、前立腺となっている。また血液系では骨髄異形成症候群が死亡率51.9%と高い割合となっている。



X. 疾病分類別死亡統計（新生物部位詳細・年齢別）

	死亡計	平均年齢	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～
新生物	223	74.1	6	15	22	24	43	36	38	28	11
嚙肉	1	81.0							1		
口腔	1	74.0					1				
中咽頭	1	82.0							1		
上咽頭	1	47.0	1								
下咽頭	1	78.0						1			
食道	5	67.2			3	1				1	
胃	21	71.8		1	4	2	8	3		3	
小腸	1	72.0					1				
結腸	16	67.9	1	2	3	1	4	2	3		
直腸	9	78.7		1	1			2	1	3	1
肛門管	1	74.0					1				
肝および肝内胆管	15	74.5		1	1	2	2	3	5	1	
胆のう	3	86.3								3	
胆道	3	88.3								2	1
膵臓	26	73.2	1	1	5	2	6	1	6	2	2
喉頭	1	80.0							1		
肺（気管支含む）	25	78.0		2		4	3	4	3	6	3
後腹膜および腹膜	1	62.0			1						
乳房	3	72.3			1		1		1		
子宮体部	4	51.0	2	2							
卵巣	6	70.7		1		1	2	2			
前立腺	9	76.7				1	3	3	1	1	
腎臓	1	75.0						1			
腎盂	1	80.0							1		
尿管	4	80.5						2	1	1	
膀胱	6	77.3				1	1	3		1	
甲状腺	1	83.0							1		
肝および肝内胆管（続発性）	2	61.0		1		1					
胸膜（続発性）	1	81.0							1		
肺（続発性）	1	79.0						1			
腹膜（続発性）	1	66.0				1					
原発不明	3	72.0				2			1		
濾胞性非ホジキンリンパ腫	1	79.0						1			
びまん性非ホジキンリンパ腫	6	77.3				1	1	2	1	1	
非ホジキンリンパ腫のその他および詳細不明の型	12	82.8			1	1	1		3	3	3
多発性骨髄腫	4	62.5	1	1			2				
リンパ性白血病	1	67.0				1					
骨髄性白血病	7	70.3		1	1	1	1	1	2		
口腔および消化器の性状不詳	2	74.5					1	1			
骨髄異形成症候群	14	75.6		1	1	1	3	3	4		1
リンパ組織・造血組織の性状不詳	1	73.0					1				

XI. 手術統計(全体・大分類)

		総数	平均術後日数	構成比 (%)	開頭手術	開胸手術	開腹手術	筋骨格系手術	腹腔鏡手術	胸腔鏡手術	その他内視鏡	経皮的血管内手術	その他
総数	計	5,281	11.7	100.0	77	23	672	783	359	20	1,380	526	1,441
	男	2,803	12.3	53.1	51	16	247	381	112	18	919	384	675
	女	2,478	11.1	46.9	26	7	425	402	247	2	461	142	766
構成比 (%)	計	100.0			1.5	0.4	12.7	14.8	6.8	0.4	26.1	10.0	27.3
	男	100.0			1.8	0.5	8.8	13.6	4.0	0.6	32.8	13.7	24.1
	女	100.0			1.0	0.3	17.2	16.2	10.0	0.1	18.6	5.7	30.9
神経系の手術	計	87	7.3	1.6	70	—	—	14	—	—	1	—	2
	男	54	6.7	1.9	49	—	—	5	—	—	—	—	—
	女	33	7.7	1.3	21	—	—	9	—	—	1	—	2
内分泌系の手術	計	18	2.7	0.3	—	—	—	—	—	—	2	—	16
	男	6	2.7	0.2	—	—	—	—	—	—	1	—	5
	女	12	2.7	0.5	—	—	—	—	—	—	1	—	11
目の手術	計	237	5.5	4.5	—	—	—	9	—	—	—	—	228
	男	122	6.5	4.4	—	—	—	7	—	—	—	—	115
	女	115	4.2	4.6	—	—	—	2	—	—	—	—	113
耳の手術	計	20	5.3	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	20
	男	11	5.6	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	11
	女	9	5.0	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	9
鼻、口、および咽頭の手術	計	398	33.1	7.5	—	—	—	5	—	—	108	—	285
	男	221	35.6	7.9	—	—	—	5	—	—	68	—	148
	女	177	27.8	7.1	—	—	—	—	—	—	40	—	137
呼吸器系の手術	計	56	12.1	1.1	—	—	—	—	—	15	14	—	27
	男	38	11.1	1.4	—	—	—	—	—	13	5	—	20
	女	18	14.1	0.7	—	—	—	—	—	2	9	—	7
循環器系の手術	計	809	9.8	15.3	7	23	11	—	—	—	—	470	298
	男	529	16.7	18.9	2	16	9	—	—	—	—	343	159
	女	280	4.3	11.3	5	7	2	—	—	—	—	127	139
血液系およびリンパ系の手術	計	16	13.8	0.3	—	—	3	—	2	—	—	—	12
	男	7	13.2	0.2	—	—	3	—	1	—	—	—	3
	女	9	14.9	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	9
消化器系の手術	計	1,648	10.1	31.2	—	—	307	—	211	5	975	—	150
	男	1,085	10.0	38.7	—	—	222	—	111	5	653	—	94
	女	563	10.4	22.7	—	—	85	—	100	—	322	—	56
尿路系の手術	計	236	8.1	4.5	—	—	13	—	1	—	200	—	22
	男	159	8.1	5.7	—	—	9	—	—	—	138	—	12
	女	77	—	3.1	—	—	4	—	1	—	62	—	10
男性生殖器の手術	計	71	4.6	1.3	—	—	4	—	—	—	42	—	25
	男	71	—	2.5	—	—	4	—	—	—	42	—	25
	女	—	4.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性生殖器の手術	計	479	6.7	9.1	—	—	133	—	146	—	21	—	179
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	479	6.7	19.3	—	—	133	—	146	—	21	—	179
産科的処置	計	210	18.7	4.0	—	—	201	—	—	—	—	—	9
	男	—	18.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	210	19.3	8.5	—	—	201	—	—	—	—	—	9
筋骨格系の手術	計	735	11.7	13.9	—	—	—	721	—	—	—	—	14
	男	356	12.9	12.7	—	—	—	348	—	—	—	—	8
	女	379	10.5	15.3	—	—	—	373	—	—	—	—	6
表皮組織の手術	計	164	7.7	3.1	—	—	—	33	—	—	—	—	131
	男	82	8.1	2.9	—	—	—	15	—	—	—	—	67
	女	82	7.0	3.3	—	—	—	18	—	—	—	—	64
各種の診断および治療	計	97	—	1.8	—	—	—	1	—	—	17	56	23
	男	62	—	2.2	—	—	—	1	—	—	12	41	8
	女	35	—	1.4	—	—	—	—	—	—	5	15	15



XII. 手術統計（新生物部位分類）

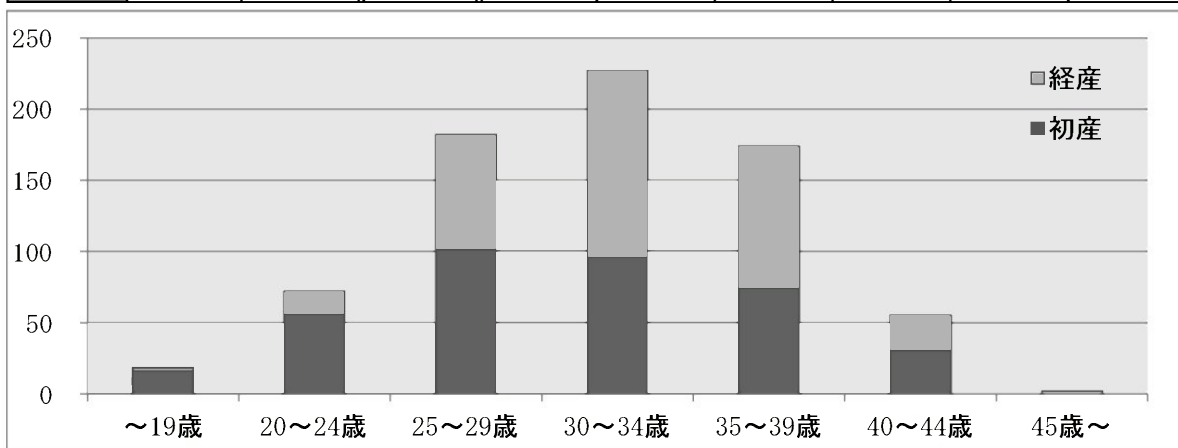
	総数	開頭手術	開胸手術	開腹手術	筋骨格系手術	胸腔鏡手術	腹腔鏡手術	その他内視鏡	経皮的血管内手術	その他
<b>悪性腫瘍</b>	<b>710</b>	<b>1</b>		<b>122</b>		<b>11</b>	<b>57</b>	<b>264</b>	<b>54</b>	<b>201</b>
口腔	1									1
その他大唾液腺	1									1
中咽頭	1									1
食道	19					4		13		2
胃	89			21			16	41		11
小腸	2						1			1
結腸	83			27			19	23		14
直腸S状結腸移行部	1						1			
直腸	45			14			18	11		2
肝および肝内胆管	103			11				5	53	34
胆のう<嚢>	7			1				5		1
その他および部位不明の胆道	34			4				25		5
膵	27			4				18		5
喉頭	4							1	1	2
肺(気管支を含む)	2					1				1
その他皮膚	12									12
その他の結合組織および軟部組織	1			1						
乳房	47									47
子宮頸部	1			1						
子宮体部	18			7						11
卵巣	15			10						5
卵管	5			4						1
陰茎	1									1
前立腺	11							8		3
精巣<睪丸>	5							1		4
腎(腎盂除く)	8			6			1			1
尿管	1			1						
膀胱	110			1				108		1
脳	1	1								
リンパ節(続発性)	1			1						
肝および肝内胆管(続発性)	7			4						3
肺(気管支を含む) 続発性)	6					6				
濾胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫	3									3
びまん性非ホジキンリンパ腫	5							2		3
非ホジキンリンパ腫その他および詳細不明の型	2									2
子宮頸部の上皮内癌	27			3			1			23
その他部位の上皮内癌	4			1				3		
<b>良性腫瘍</b>	<b>383</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>100</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>98</b>	<b>120</b>		<b>43</b>
口腔および咽頭	4									4
大唾液腺	6									6
結腸、直腸、肛門、および肛門管	95			3			1	91		
消化器系その他および部位不明	16			2			1	13		
中耳および呼吸器系	4							3		1
胸腔内臓器	2		1			1				
骨および関節軟骨	10									4
良性脂肪性新生物(脂肪腫含む)	8									2
血管腫およびリンパ管腫	6									4
後腹膜および腹膜の軟部組織	1									1
メラニン細胞性母斑	3									2
皮膚その他	1									1
皮膚その他	2									2
子宮平滑筋腫	122			76			38	6		2
卵巣	77			19			58			
その他および部位不明の女性生殖器	1									1
男性生殖器	1									1
腎尿路	5							5		
髄膜	4	4								
甲状腺	10									10
その他および部位不明の内分泌腺	4							2		2
その他および部位不明	1									1
<b>性状不詳</b>	<b>35</b>	<b>3</b>		<b>5</b>	<b>5</b>			<b>5</b>		<b>17</b>
口腔および消化器	9			5				1		3
男性生殖器	3									3
腎尿路	4							4		
髄膜	1	1								
脳	2	2								
内分泌腺	1									1
その他および部位不明	14									9
脾	1									1
<b>総計</b>	<b>1,128</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>227</b>	<b>21</b>	<b>12</b>	<b>156</b>	<b>389</b>	<b>54</b>	<b>260</b>

XIII. 手術統計 (大分類・年齢別・性別)

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～
総数	計	5,281	100.0	62.0	29	58	53	76	261	463	464	501	395	573	658	634	598	332	186
	男	2,803	53.1	63.7	24	33	35	40	77	135	211	269	271	376	419	372	330	154	57
	女	2,478	46.9	60.0	5	25	18	36	184	328	253	232	124	197	239	262	268	178	129
構成比 (%)	計	100.0			0.5	1.1	1.0	1.4	4.9	8.8	8.8	9.5	7.5	10.9	12.0	11.3	6.3	3.5	
	男	100.0			0.9	1.2	1.2	1.4	2.7	4.8	7.5	9.6	9.7	13.4	14.9	13.3	11.8	5.5	2.0
	女	100.0			0.2	1.0	0.7	1.5	7.4	13.2	10.2	9.4	5.0	7.9	9.6	10.6	10.8	7.2	5.2
神経系の手術	計	87	1.6	68.5	—	—	3	1	3	2	3	8	10	3	6	17	15	13	3
	男	54	1.9	69.8	—	—	3	—	1	1	1	3	5	3	5	13	11	7	1
	女	33	1.3	66.4	—	—	—	1	2	1	2	5	5	—	1	4	4	6	2
内分泌系の手術	計	18	0.3	59.3	—	—	—	—	—	2	2	6	2	2	2	1	1	—	—
	男	6	0.2	66.8	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	1	1	—	—
	女	12	0.5	55.5	—	—	—	—	—	2	2	4	1	1	2	—	—	—	—
目の手術	計	237	4.5	71.0	1	—	1	—	2	2	9	13	19	37	46	44	47	15	1
	男	122	4.4	69.7	—	—	1	—	2	2	5	9	14	11	30	21	14	13	—
	女	115	4.6	72.3	1	—	—	—	—	—	4	4	5	26	16	23	33	2	1
耳の手術	計	20	0.4	34.7	1	2	3	2	3	1	1	1	3	1	2	—	—	—	—
	男	11	0.4	42.2	—	—	1	1	3	1	—	1	2	—	2	—	—	—	—
	女	9	0.4	25.4	1	2	2	1	—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—
鼻、口、および咽頭の手術	計	398	7.5	44.1	11	28	15	20	50	52	55	44	21	28	29	22	12	6	5
	男	221	7.9	42.5	11	18	8	10	21	28	41	19	13	15	17	13	5	1	1
	女	177	7.1	46.0	—	10	7	10	29	24	14	25	8	13	12	9	7	5	4
呼吸器系の手術	計	56	1.1	59.7	—	—	—	1	5	4	3	7	7	10	4	9	4	1	1
	男	38	1.4	58.2	—	—	—	1	3	4	2	4	5	7	4	4	4	—	—
	女	18	0.7	62.8	—	—	—	—	2	—	1	3	2	3	—	5	—	1	1
循環器系の手術	計	809	15.3	69.4	—	1	—	—	5	18	44	79	78	130	140	128	110	50	26
	男	529	18.9	68.5	—	—	—	—	2	12	34	51	50	102	94	82	77	19	6
	女	280	11.3	71.3	—	1	—	—	3	6	10	28	28	28	46	46	33	31	20
血液系およびリンパ系の手術	計	16	0.3	70.8	—	—	—	—	—	—	1	1	—	4	4	3	3	—	—
	男	7	0.2	73.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	1	—	—
	女	9	0.4	68.9	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2	2	1	2	—	—
消化器系の手術	計	1,648	31.2	68.9	3	11	8	12	19	46	84	151	156	217	268	244	220	134	75
	男	1,085	38.7	68.2	3	6	6	5	12	26	58	102	119	165	188	153	135	77	30
	女	563	22.7	70.3	—	5	2	7	7	20	26	49	37	52	80	91	85	57	45
尿路系の手術	計	236	4.5	71.7	—	—	—	—	1	2	11	27	23	22	32	47	46	18	7
	男	159	5.7	71.1	—	—	—	—	1	—	7	17	20	17	23	30	29	13	2
	女	77	3.1	72.8	—	—	—	—	—	2	4	10	3	5	9	17	17	5	5
男性生殖器の手術	計	71	1.3	61.5	2	—	3	2	3	2	2	7	9	5	11	15	8	2	—
	男	71	2.5	61.5	2	—	3	2	3	2	2	7	9	5	11	15	8	2	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性生殖器の手術	計	479	9.1	43.7	—	—	1	9	66	138	139	48	15	22	25	8	5	3	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	479	19.3	43.7	—	—	1	9	66	138	139	48	15	22	25	8	5	3	—
産科的処置	計	210	4.0	32.2	—	—	—	4	62	121	23	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	210	8.5	32.2	—	—	—	4	62	121	23	—	—	—	—	—	—	—	—
筋骨格系の手術	計	735	13.9	63.6	5	11	17	19	30	43	67	73	38	64	66	68	90	81	63
	男	356	12.7	55.1	3	5	11	16	22	37	48	40	27	30	33	26	27	17	14
	女	379	15.3	71.5	2	6	6	3	8	6	19	33	11	34	33	42	63	64	49
表皮組織の手術	計	164	3.1	52.6	5	3	2	6	11	27	17	20	12	15	11	10	18	3	4
	男	82	2.9	44.0	4	2	2	5	7	19	10	10	5	8	1	2	5	—	2
	女	82	3.3	61.1	1	1	—	1	4	8	7	10	7	7	10	8	13	3	2
各種の診断および治療	計	97	1.8	68.0	1	2	—	—	1	3	3	16	2	13	12	18	19	6	1
	男	62	2.2	68.0	1	2	—	—	—	3	3	4	1	10	9	10	13	5	1
	女	35	1.4	68.1	—	—	—	—	1	—	—	12	1	3	3	8	6	1	—

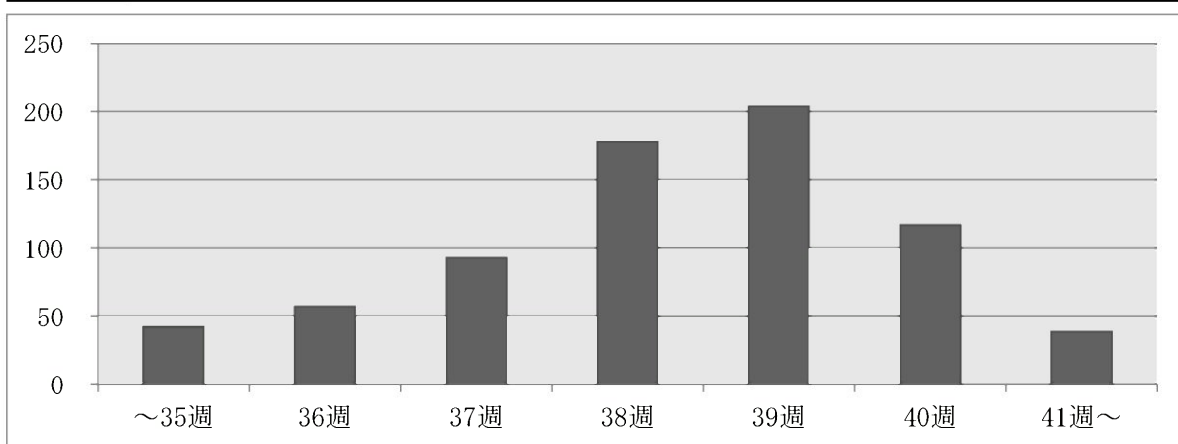
XIV. 出産統計（初経産・年齢階層別分娩数）

	総数	構成比 (%)	平均年齢	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳～
総数	730	100.0	31.3	18	72	182	227	174	55	2
（帝切）	200	27.4	32.4	4	16	41	64	52	22	1
（早産）	99	13.6	31.3	3	8	29	29	20	10	—
初産	373	51.1	30.2	16	56	101	96	74	30	—
（帝切）	81	11.1	30.9	4	10	17	23	19	8	—
（早産）	50	6.8	29.5	2	7	20	10	8	3	—
経産	357	48.9	32.5	2	16	81	131	100	25	2
（帝切）	119	16.3	33.4	—	6	24	41	33	14	1
（早産）	49	6.7	33.1	1	1	9	19	12	7	—



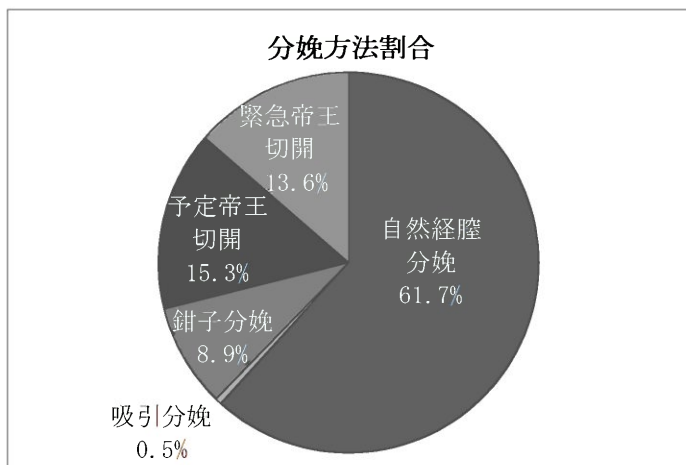
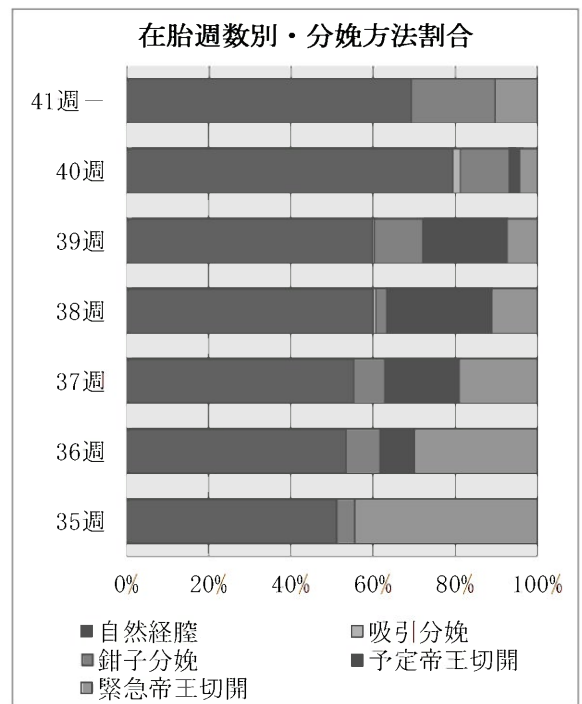
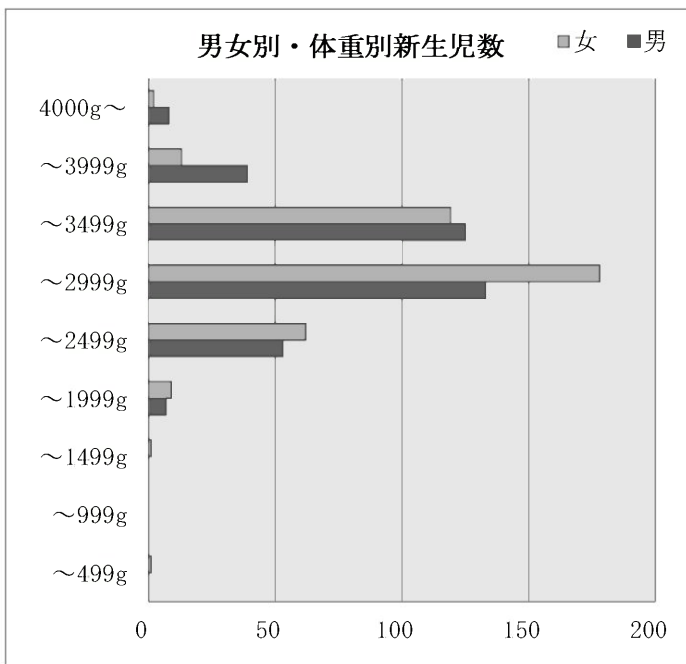
XV. 出産統計（単多胎・在胎週数別分娩数）

	総数	構成比 (%)	～35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週～
総数	730	100.0	42	57	93	178	204	117	39
（帝切）	200	27.4	17	20	29	65	57	8	4
（早産）	99	13.6	42	57	—	—	—	—	—
単胎	710	97.3	39	54	81	176	204	117	39
（帝切）	183	25.1	14	17	19	64	57	8	4
（早産）	93	12.7	39	54	—	—	—	—	—
多胎	20	2.7	3	3	12	2	—	—	—
（帝切）	17	2.3	3	3	10	1	—	—	—
（早産）	6	0.8	3	3	—	—	—	—	—



XVI. 新生児統計（体重別・分娩方法別新生児数）

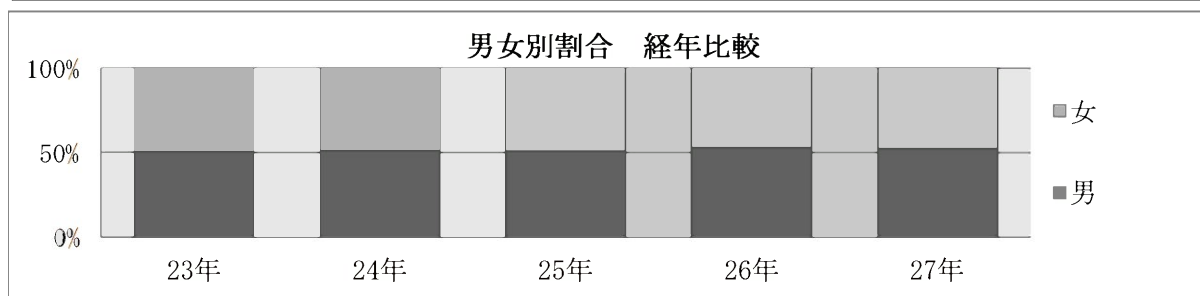
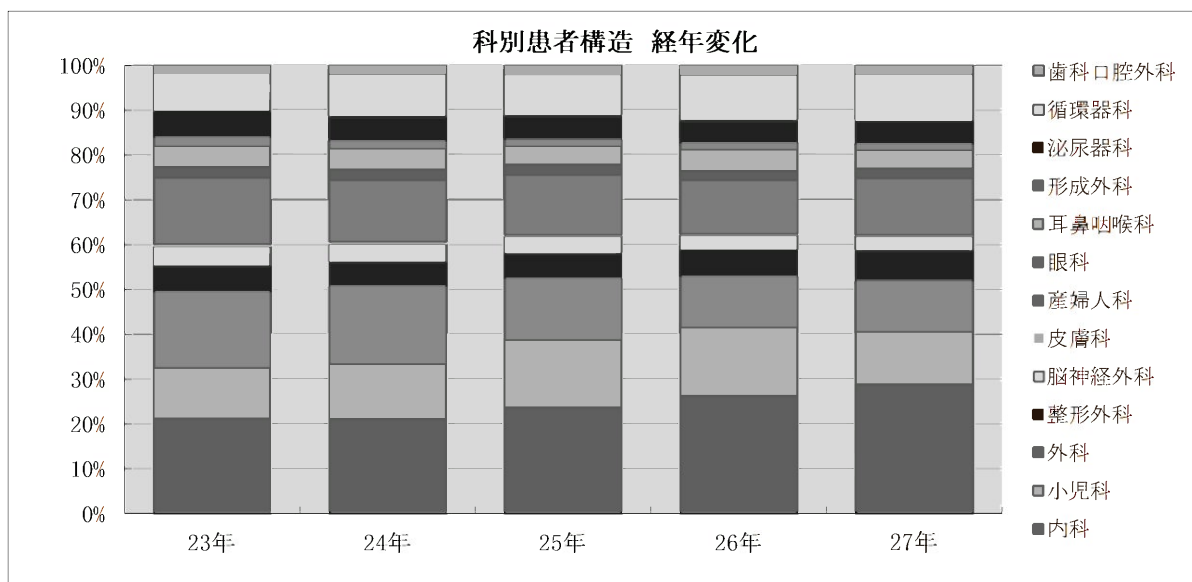
	総数	出生時体重								
		～499g	～999g	～1499g	～1999g	～2499g	～2999g	～3499g	～3999g	4000g～
新生児総数	750	1	—	1	16	115	311	244	52	10
(死産)	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
(多胎)	40	1	—	—	3	18	17	1	—	—
(帝王切開)	217	1	—	1	10	47	91	54	11	2
(早産)	105	—	—	1	13	49	38	4	—	—
(未熟)	132	—	—	1	16	115	—	—	—	—
(奇形)	10	—	—	—	—	—	3	6	1	—
性別										
男	365	—	—	—	7	53	133	125	39	8
女	385	1	—	1	9	62	178	119	13	2
分娩方法										
自然経膣分娩	463	—	—	—	4	64	191	164	36	4
吸引分娩	4	—	—	—	—	—	1	1	2	—
鉗子分娩	66	—	—	—	2	4	28	25	3	4
予定帝王切開	115	1	—	—	—	15	56	37	5	1
緊急帝王切開	102	—	—	1	10	32	35	17	6	1



体重別では、2500g～2999gの出生児が最も多く、次いで3000g～3499gとなっている。  
 分娩方法では、自然経膣分娩（61.7%）が最も多く、次いで予定帝王切開（15.3%）となっている。緊急帝王切開と合わせると、全体の28.9%の出生児が帝王切開で生まれており、リスクのある分娩を取り扱っている結果である。

XVII. 患者統計 (經年比較)

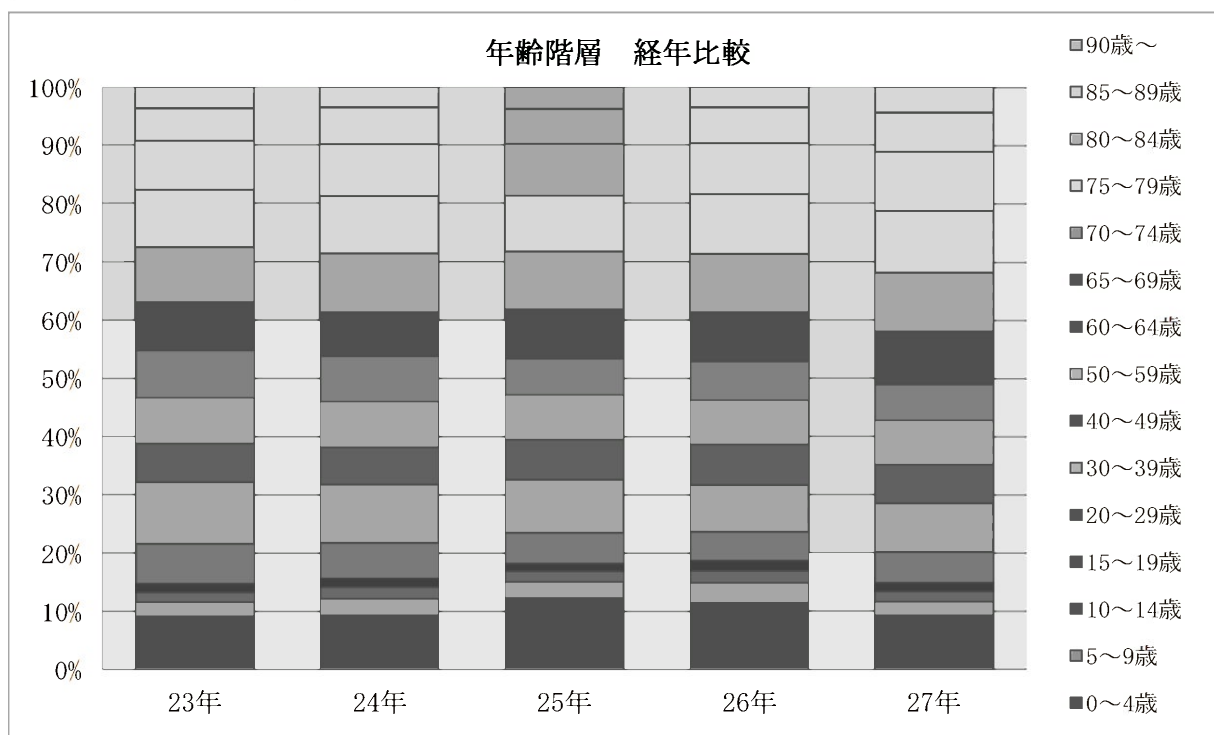
		23年	24年	25年	26年	27年
患者總數		10,258	11,122	11,654	12,222	11,784
	男	5,183	5,663	5,910	6,444	6,152
	女	5,075	5,459	5,744	5,778	5,632
平均在院日數		13.1	12.9	13.0	13.0	13.0
診療科別	內科	2,168	2,330	2,756	3,193	3,391
	小兒科	1,162	1,382	1,752	1,876	1,381
	外科	1,757	1,944	1,610	1,408	1,352
	整形外科	558	568	629	685	765
	腦神經外科	460	447	453	414	387
	皮膚科	63	77	52	47	42
	產婦人科	1,515	1,530	1,553	1,471	1,502
	眼科	247	261	256	243	242
	耳鼻咽喉科	466	511	487	577	486
	形成外科	226	196	183	199	185
	泌尿器科	558	574	585	582	571
	循環器科	881	1,064	1,080	1,242	1,232
	齒科口腔外科	197	238	258	285	248





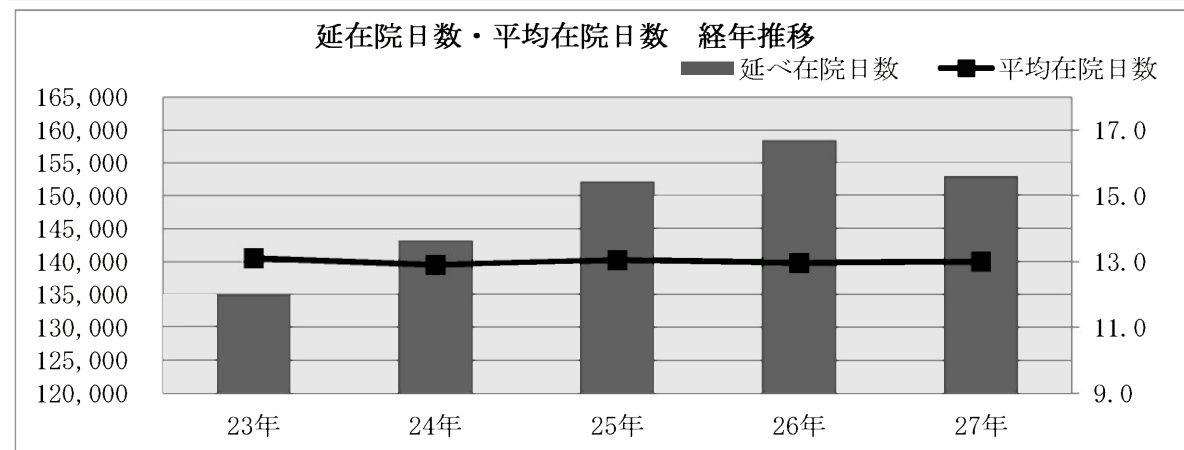
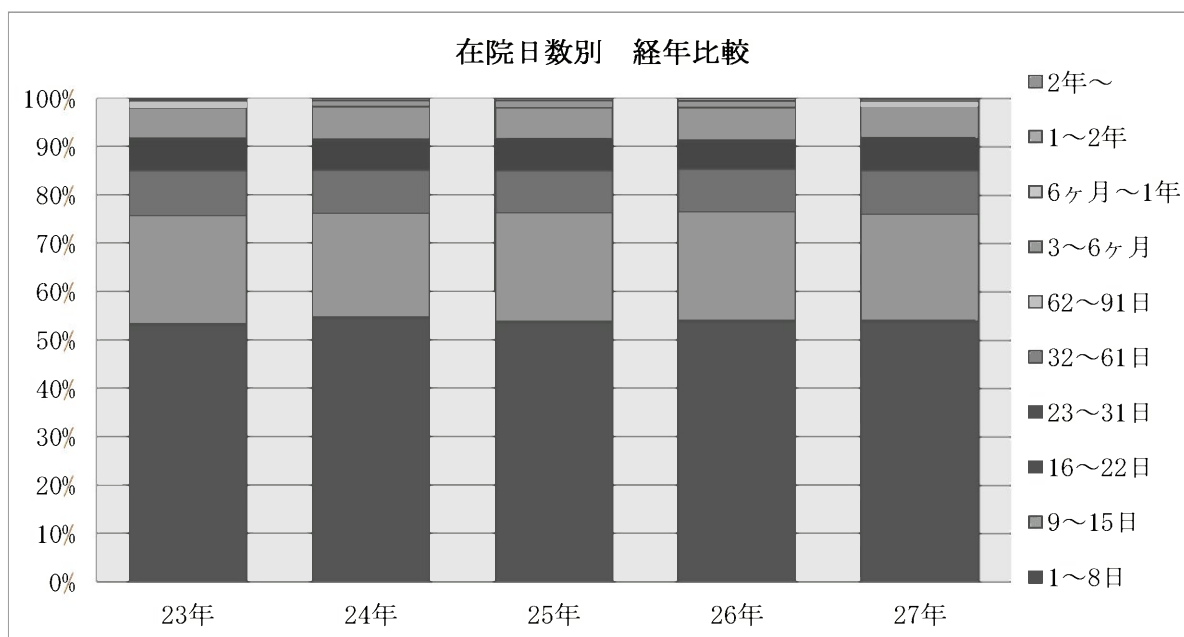
XVIII. 年齡階層別統計（經年比較）

	23年	24年	25年	26年	27年
總計	10,258	11,122	11,654	12,222	11,784
平均年齡	53.5	53.7	52.6	52.8	55.6
0~4歲	944	1,039	1,436	1,408	1,105
5~9歲	244	315	316	413	270
10~14歲	173	220	212	251	209
15~19歲	152	163	162	210	173
20~29歲	702	678	614	605	620
30~39歲	1,086	1,122	1,065	984	988
40~49歲	686	712	794	854	787
50~59歲	804	872	896	931	885
60~64歲	838	871	731	819	734
65~69歲	847	837	989	1,033	1,067
70~74歲	958	1,106	1,138	1,210	1,182
75~79歲	1,011	1,104	1,125	1,253	1,250
80~84歲	856	983	1,032	1,054	1,194
85~89歲	576	706	702	760	799
90歲~	381	394	442	437	521



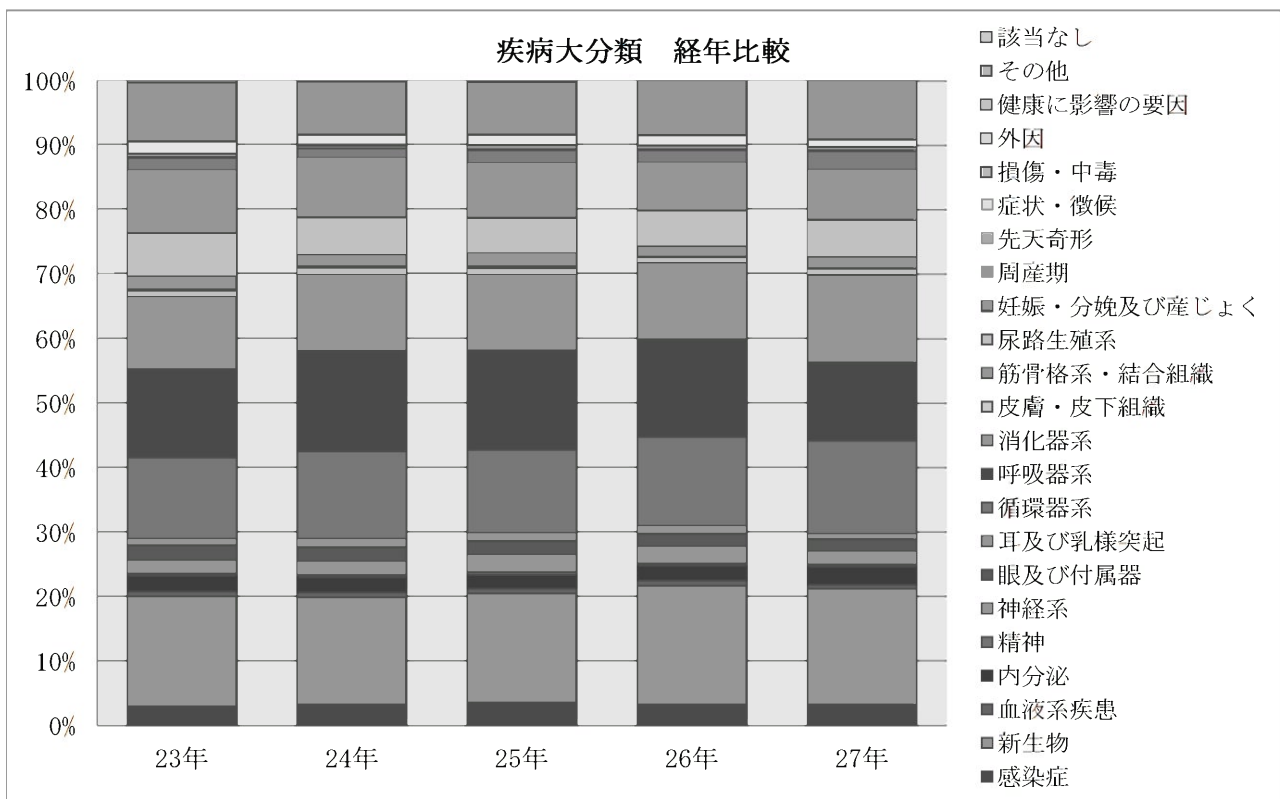
XIX. 在院日数別統計（経年比較）

		23年	24年	25年	26年	27年
延べ在院日数		134,878	143,076	152,033	158,367	152,776
平均在院日数		13.1	12.9	13.0	13.0	13.0
在院日数別 退院患者	1～8日	5,456	6,066	6,251	6,585	6,344
	9～15日	2,308	2,401	2,640	2,762	2,615
	16～22日	968	1,012	1,030	1,098	1,074
	23～31日	666	682	739	697	772
	32～61日	647	751	748	832	772
	62～91日	153	138	170	160	142
	3～6ヶ月	47	66	71	80	55
	6ヶ月～1年	12	6	4	8	9
	1～2年	—	—	1	—	1
	2年～	1	—	—	—	—



XX. 疾病統計（大分類）（経年比較）

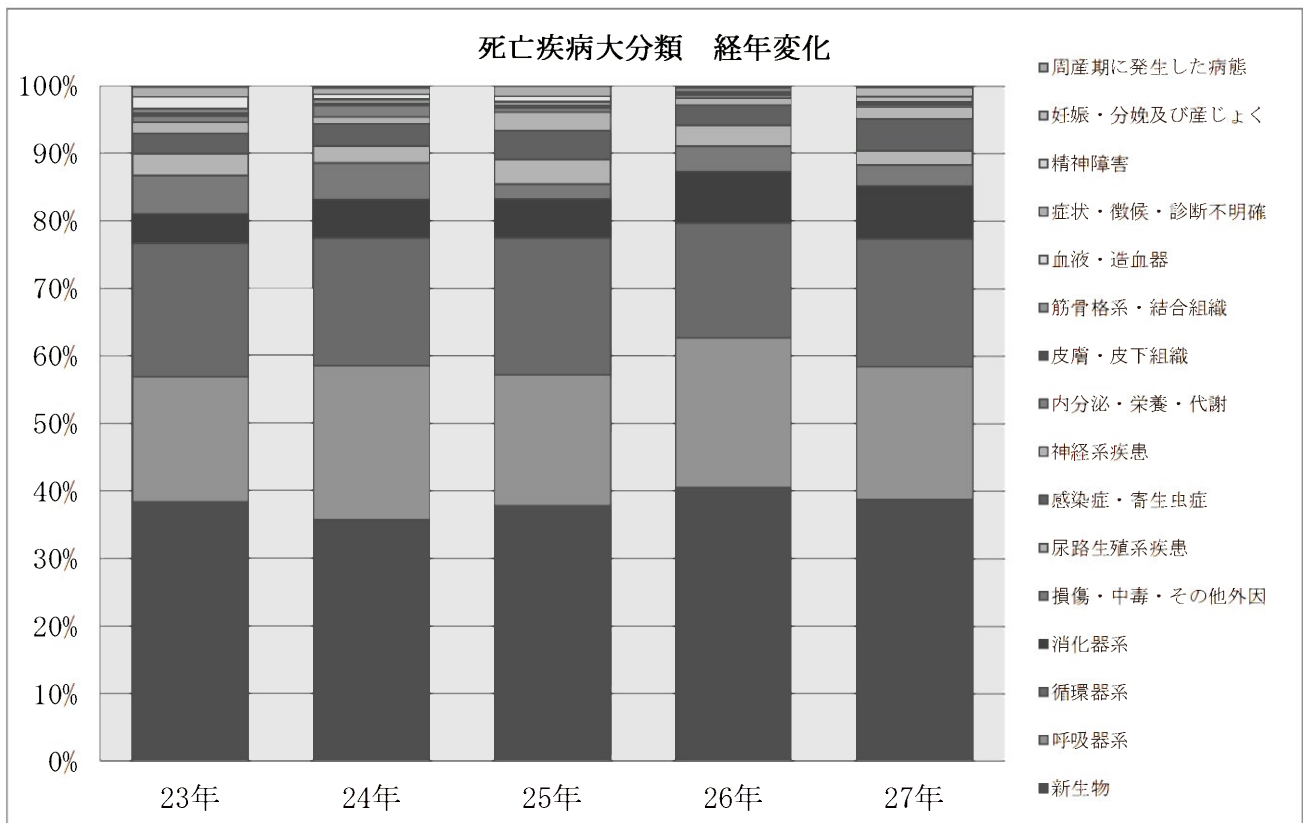
		23年	24年	25年	26年	27年
<b>総数</b>		10,216	11,122	11,654	12,222	11,784
疾病大分類	感染症・寄生虫症	299	355	416	390	376
	新生物	1,743	1,859	1,966	2,261	2,119
	血液・造血器疾患	79	81	91	95	77
	内分泌・栄養・代謝	250	266	249	286	336
	精神障害	34	31	48	36	25
	神経系疾患	212	239	319	326	251
	眼及び付属器疾患	234	246	244	237	221
	耳及び乳様突起疾患	106	141	143	151	100
	循環器系疾患	1,289	1,508	1,506	1,692	1,702
	呼吸器系疾患	1,391	1,732	1,789	1,833	1,415
	消化器系疾患	1,156	1,310	1,380	1,452	1,607
	皮膚・皮下組織疾患	99	138	132	120	122
	筋骨格系・結合組織疾患	222	207	254	196	195
	尿路生殖系疾患	684	646	632	676	688
	妊娠・分娩及び産じょく	1,001	1,031	999	926	925
	周産期に発生した病態	201	175	233	234	344
	先天奇形・変形及び染色体異常	45	35	65	61	49
	症状・徴候・診断不明確	198	181	202	201	136
	損傷・中毒・その他外因	935	916	944	1,043	1,096
	傷病及び死亡の外因	—	—	—	—	—
健康状態に影響を及ぼす要因	36	25	42	6	—	
その他	—	—	—	—	—	
該当なし	2	—	—	—	—	





XXII. 疾病分類別死亡統計（大分類）（経年比較）

		23年	24年	25年	26年	27年
死亡患者数		561	659	591	606	575
疾病大分類	新生物	215	236	224	246	223
	呼吸器系疾患	103	150	114	134	113
	循環器系疾患	111	125	120	103	109
	消化器系疾患	24	37	34	46	45
	損傷・中毒・その他外因	32	36	13	23	18
	尿路生殖系疾患	18	17	22	19	12
	感染症・寄生虫症	17	21	25	18	27
	神経系疾患	9	7	16	6	10
	内分泌・栄養・代謝	5	11	4	3	2
	皮膚・皮下組織疾患	3	2	2	3	1
	筋骨格系・結合組織疾患	3	4	3	3	1
	血液・造血器疾患	10	5	5	1	5
	症状・徴候・診断不明確	8	6	9	1	7
	精神障害	—	2	—	—	—
	妊娠・分娩及び産じょく	1	—	—	—	—
	周産期に発生した病態	2	—	—	—	—
先天奇形・変形・および染色体異常	—	—	—	—	2	



XXIII. 手術統計（大分類）（経年比較）

		23年	24年	25年	26年	27年
<b>総数</b>		4,240	4,621	4,725	5,269	5,281
<b>手術大分類</b>	神経系の手術	135	110	127	119	87
	内分泌系の手術	14	17	8	13	18
	目の手術	266	253	254	238	237
	耳の手術	22	29	17	25	20
	鼻、口、および咽頭の手術	287	356	372	435	398
	呼吸器系の手術	79	60	64	66	56
	循環器系の手術	661	784	736	849	809
	血液・リンパ系の手術	23	28	29	30	16
	消化器系の手術	977	1,183	1,354	1,598	1,648
	尿路系の手術	191	203	237	281	236
	男性生殖器の手術	68	69	59	61	71
	女性生殖器の手術	449	496	469	470	479
	産科的処置	278	270	206	186	210
	筋骨格系の手術	554	550	585	666	735
	表皮組織の手術	170	129	144	139	164
	各種の診断および治療	66	84	64	93	97

